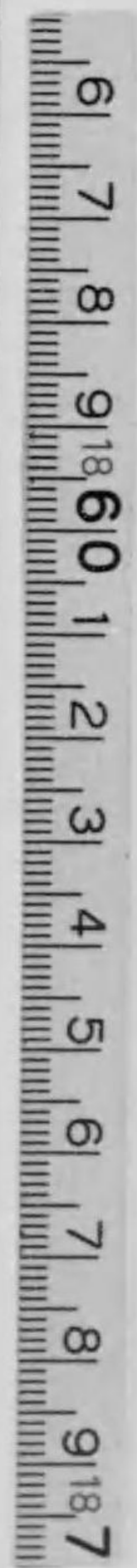


423

192



始





5757-48

工學士岡田信一郎序

繁野繁造著

市街地建築物法依ル

小住宅圖案 瀟洒

全

東京

建築書房發行

14.4.4  
内交



## 序

人類の未開の時代には、彼等は相闘ふに、徒手空拳を以てした。或は樹枝、石片が唯一の武器であつた。人文の進歩につれて、刀剣、弓槍が用ひられた。而して近代の戦争では銃砲が用ひられ、又最近の戦争では、武器の精銳と云ふ事が、戦の勝敗を決する主因であるに至つた。吾人が活社會の平和の戦場で、勝者であらんが爲には、また科學的な精銳の武器を要する。其の主要なるものは第一に吾人の住居である。人文未開の時代には、住居はただ雨露をしのぎ、猛獸毒蛇の害を防ぐだけのものであつたが、今の住居の任務は、自然から人間を保護すると云ふやうな簡単な事はかりではない。於是住居は科學的に考案され、美術的に意匠さるるを要する至難の技術となつた。大工委せの簡易な時代は既に過ぎ去つたのである。

斯かる近代的の住居の中に、安らかな家庭生活によつて、疲れたる神身の慰安を索める事が出来る。而して潑刺たる活動の元氣を養ふ事が出来るのであ



る。實際眞に活社會に活動せんとするものは、先づ近代的の住居によつて戰闘準備を成さねばならない。今迄は功成り名遂げて、小金でも貯えた人が始めて家を建てた。夫れ故に家を建てると主人が死ぬる等この俗説も立つた。斯かる家は隱退の場所として建てられるのであつて、國家の活動力には何の寄與する所もない。想ふに近代の生活では住家は先づ、借金をしても壯年時代に建てらる可きで、此處に愉快な家庭生活を營んで、活動力の源泉とせねばならない。之は建築家の我田引水の議論では無いのである。其故に家を建てるのは必しも上流富豪だけの事ではないので、寧ろ國家の中堅として最も活動を要望される中流人士に於て、反つて最も必要な事である。而して其住宅は奢侈のためでも、安逸のためでもなく、活動の本源として建てられるのであるから、最も近代的のものでなくてはならない。むだなく合理的に、愉快に美しく、科學者の頭で美術家の腕を以て設計されたもので無ければならない。

今茲に此の圖案集が、手頃の少さい愉快な住宅の數十の例を集めて、斯る人士の參考として出版され

た事は、此點で大に意味がある、活社會に寄與するものにして私の最も會心に感ずる所である。今迄の住宅に關する著書も名は中流であつても、割合に大きなものが多かつたが、此の著は眞に將來の日本を支持すべき若き中流人士に適當な住居の數例を供給して居る。而して此著の圖案の何れもが、頗る實際的で、よく見る机上の空案でない事は又大に推獎するにたる特徴である。恐らくは眞面目に自分達の家を求めらるる人士に嗜好の參考になるであらう。巻尾に市街地建築法届出の實例等を附して手續の一般を明かにしたのも實際的な著者の用意を知る事が出来る。此等の實際的な點は數ある此種の著書の中で、此の圖案集に特別な價値を與へるであらう。

大正十四年八月

工學士 岡田信一郎



## 緒言

日と共に複雑化する、此の活社會に於て、吾々の最も要望するものは身心の休養所である、即ち己が理想を實現せる住居である。

各自の個性を尊重せる、而も便利なる間取りにして、美術的に考案されたる住居が、其日其日の勞苦の、慰安所であり、翌日の活動力の養成所であり、又一方一家團樂の場所である。而して人智の發達に伴ひ、人々の生活様式の向上するに従つて、益々科學的であり、且美術的なる、住居を要望するは言を待たないものである。

如斯生活上の、重大なる要素が、今日迄或一部の人々を除いて餘りに等閑視されて居たのは、各自に取つて誠に不都合なる事であり、大にしては國家的の損失たるを免れ得ない事である。

唯れもが、自分の所有たる理想的の住家を、得たいと思ふは當然の心持である。

然し其れには素人の人々に、何等かの指導方法により、漫然と浮んで居る所の、其の人々の理想を具體



(緒言)

(六)

化する所のものが必要と思れるのである。  
以上の様な考へを、基礎として考案せる十数種の圖案を、集めて見たのが此の圖案集である。幸に素人の方々に上述の如き意味に於て相談相手となり得て住居問題に對して、多少なりとも貢献する所あれば、著者の本懐も亦之に過ぎぬのである。

大正十四年八月

著者識す

市街地建築物法に依る

### 瀟洒なる小住宅圖案

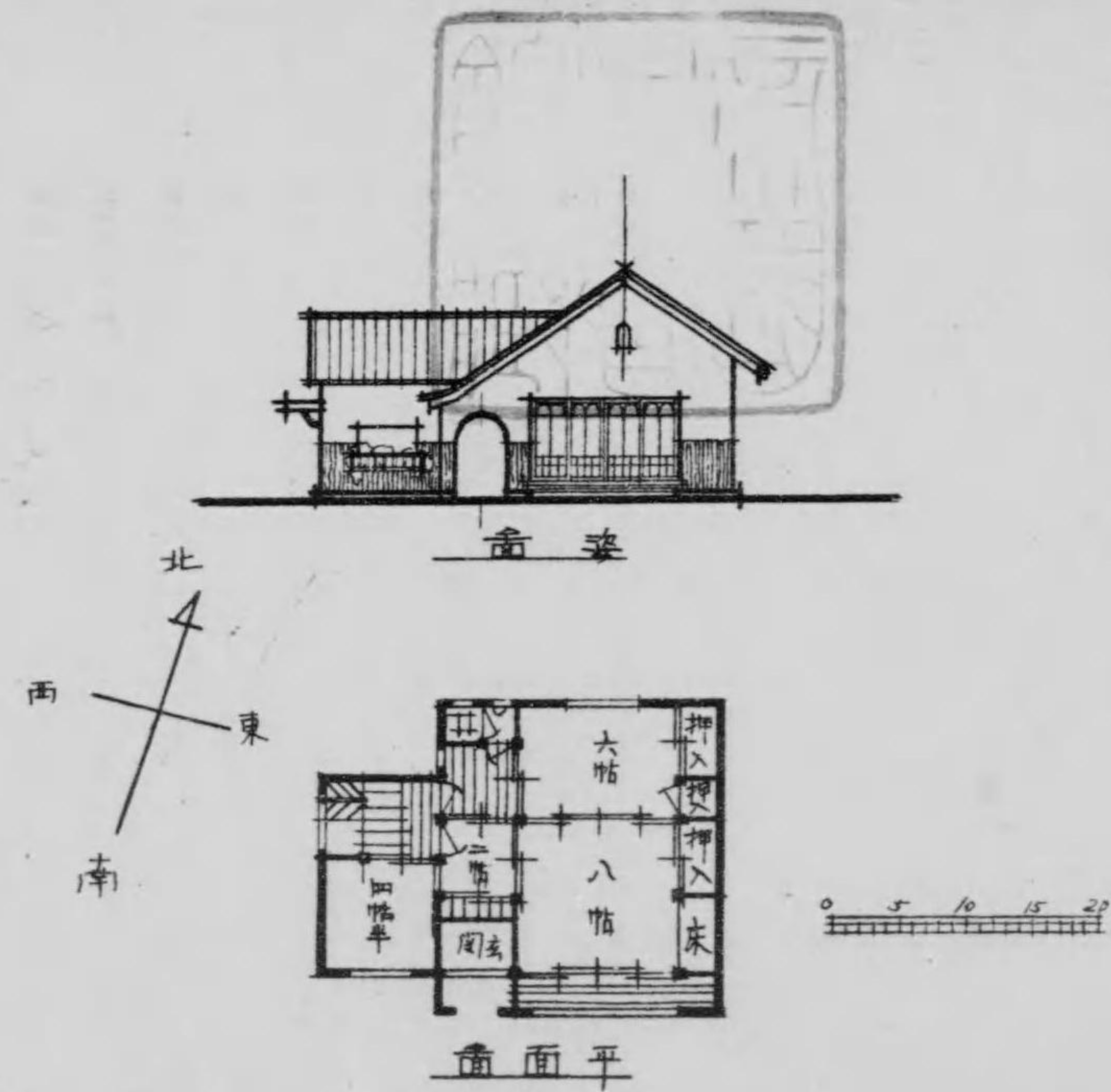
目次

第一圖	平家建住宅	建	坪	十七坪七合五勺
第二圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		四十九坪五合
第三圖	平家建住宅	建	坪	十二坪五合
第四圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		三十坪七合八勺
第五圖	平家建住宅	建	坪	十二坪七合五勺
第六圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		二十八坪五合
第七圖	二戸建二階建商店	建	坪	二十二坪五合 二階十五坪
第八圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		三十二坪
第九圖	平家建住宅	建	坪	十七坪五合
第十圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		三十一坪九合二勺
第十一圖	二階建住宅	建	坪	十二坪一合五勺 二階 八坪七合五勺
第十二圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		二十二坪
第十三圖	平家建住宅	建	坪	十九坪五合
第十四圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		四十坪九合五勺
第十五圖	平家建住宅	建	坪	十二坪五合
第十六圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		三十六坪二合五勺
第十七圖	二戸建平家建住宅	建	坪	二十一坪七合五勺
第十八圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪		四十六坪
第十九圖	二戸建平家建住宅	建	坪	二十八坪

(目次)

(一)





第一圖

(目次)

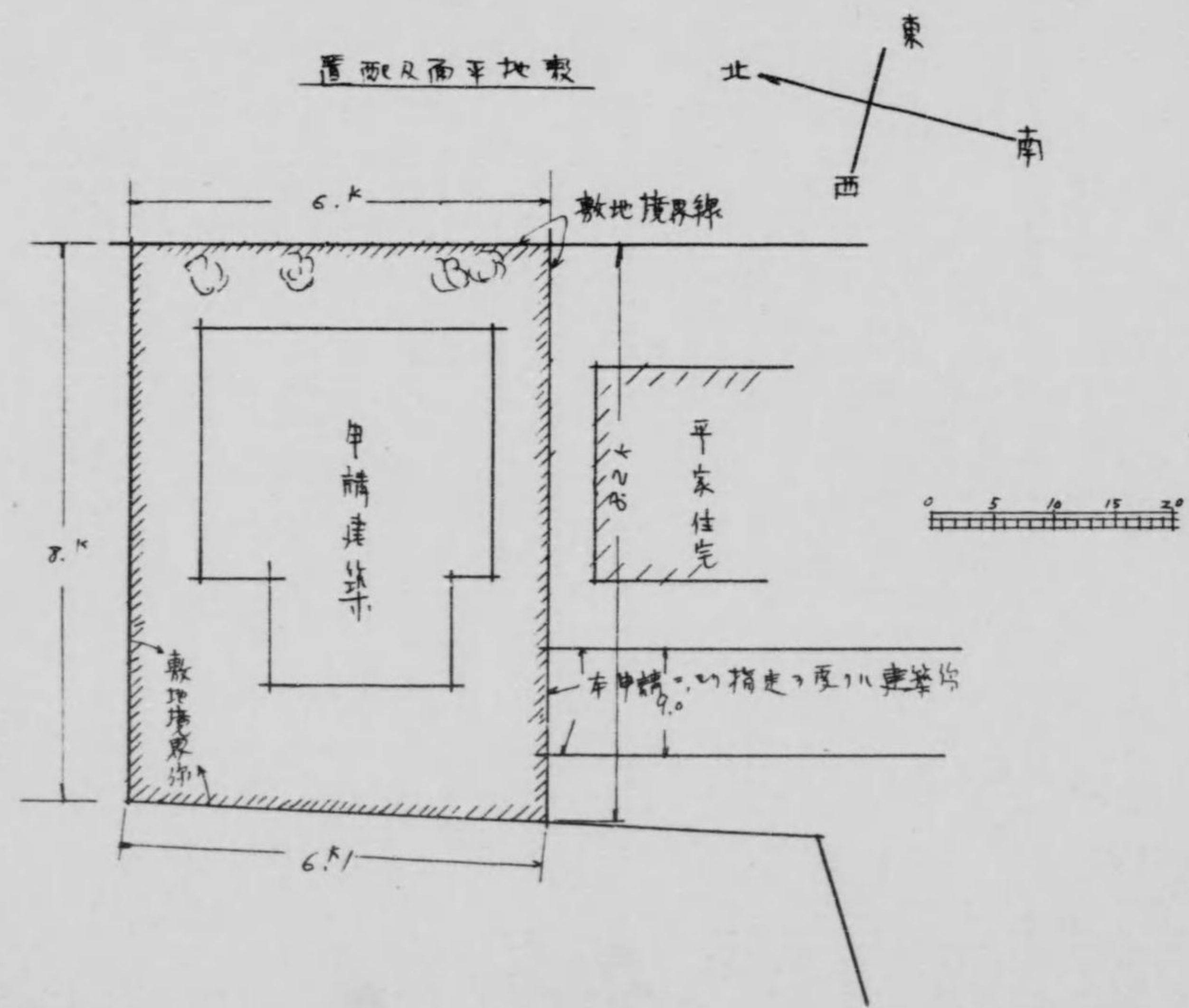
第二十圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	五十三坪四合
第二十一圖	平家建住宅	建 坪	十三坪五合
第二十二圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	四十六坪
第二十三圖	二戶建二階建商店	建 坪	二十坪
第二十四圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	二十七坪
第二十五圖	平家建住宅	建 坪	十二坪
第二十六圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	三十坪
第二十七圖	平家建住宅	建 坪	十八坪二合五勺
第二十八圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	三十一坪六合五勺
第二十九圖	二戶建二階建住宅	建 坪	十八坪
第三十圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	二階十二坪
第三十一圖	同 敷地及配置圖	敷地面坪	三十一坪

附 建築申請書式實例

終

(一一)

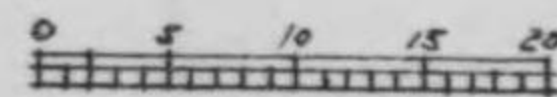
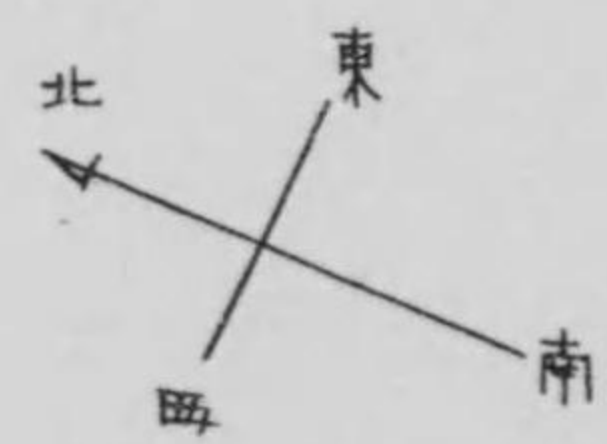
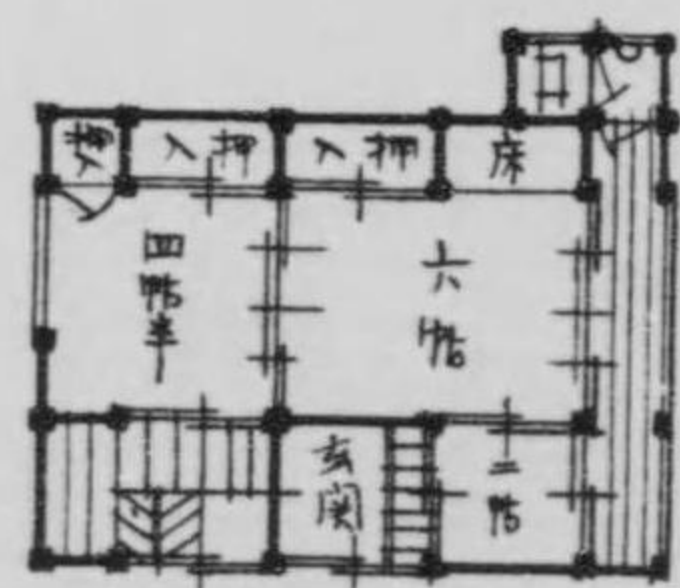
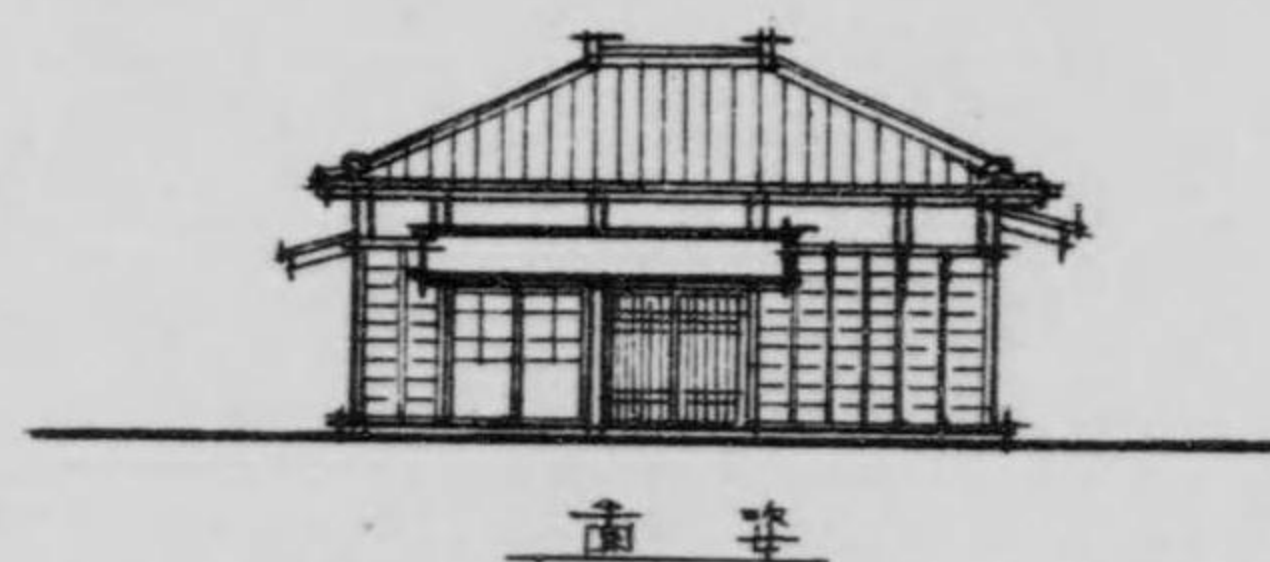




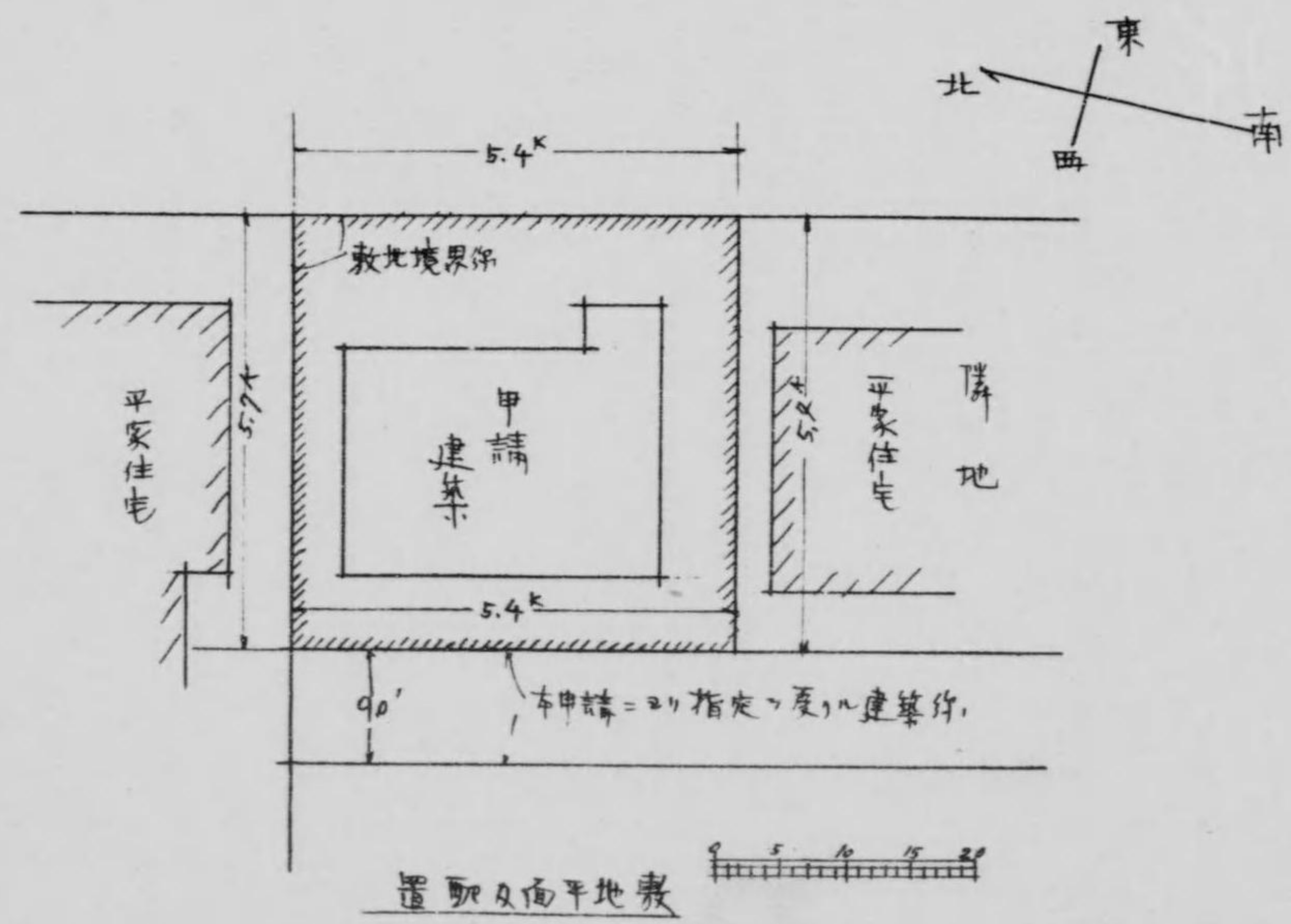
第二圖



第三圖

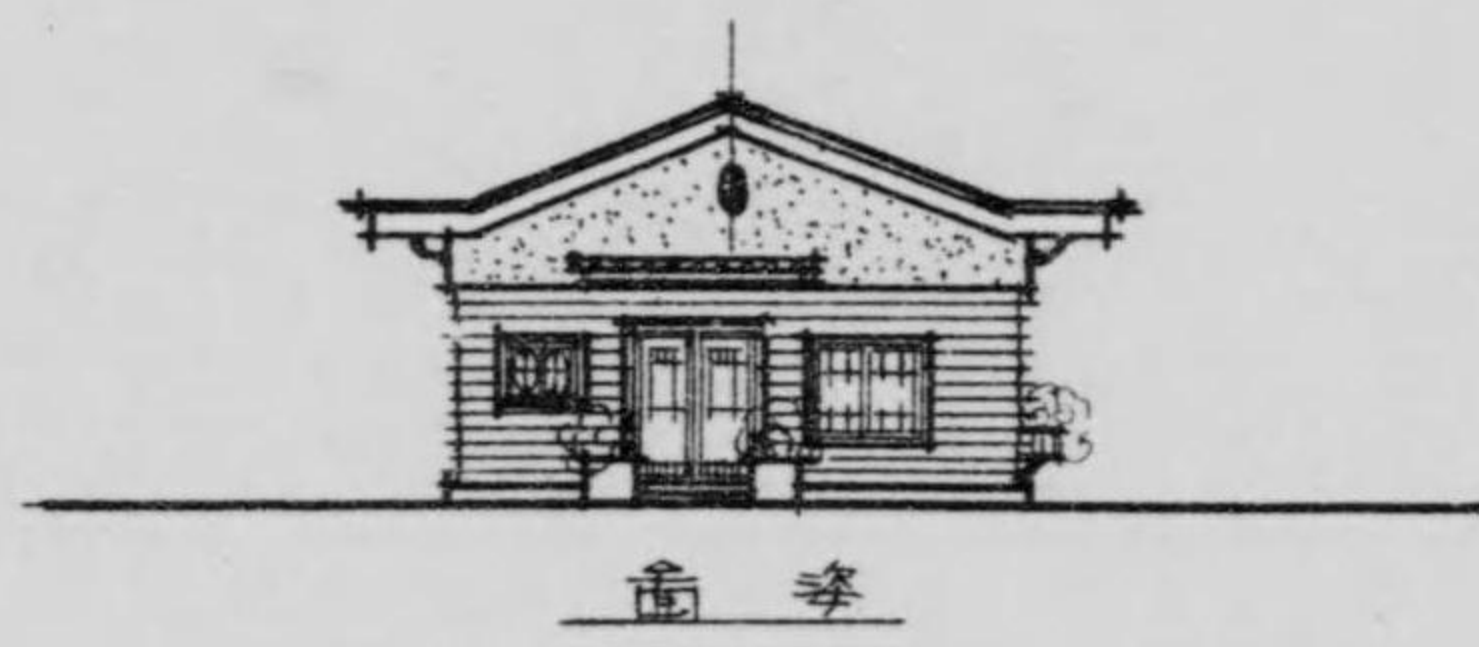




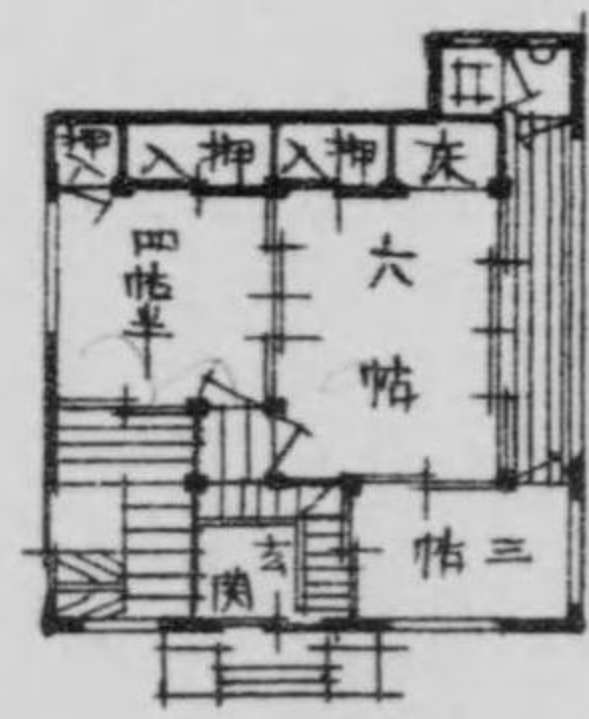
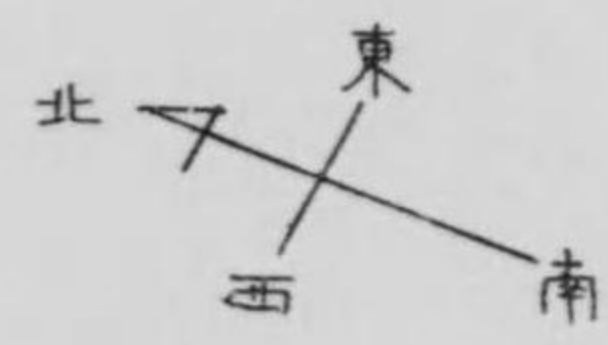


第四圖

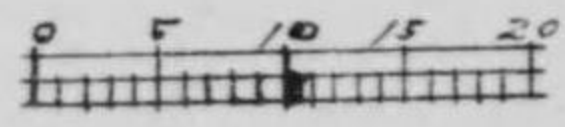




第五圖

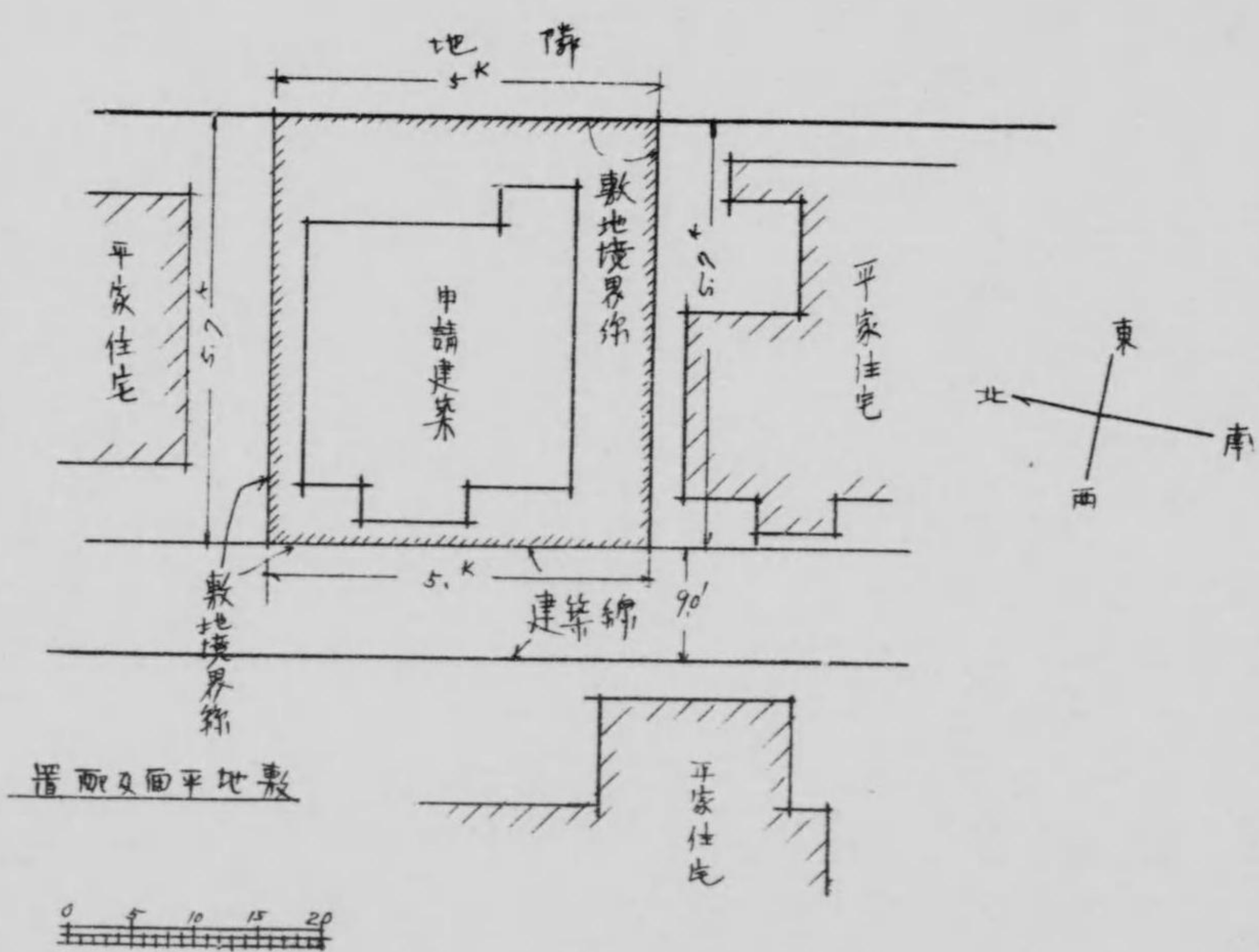


平面圖



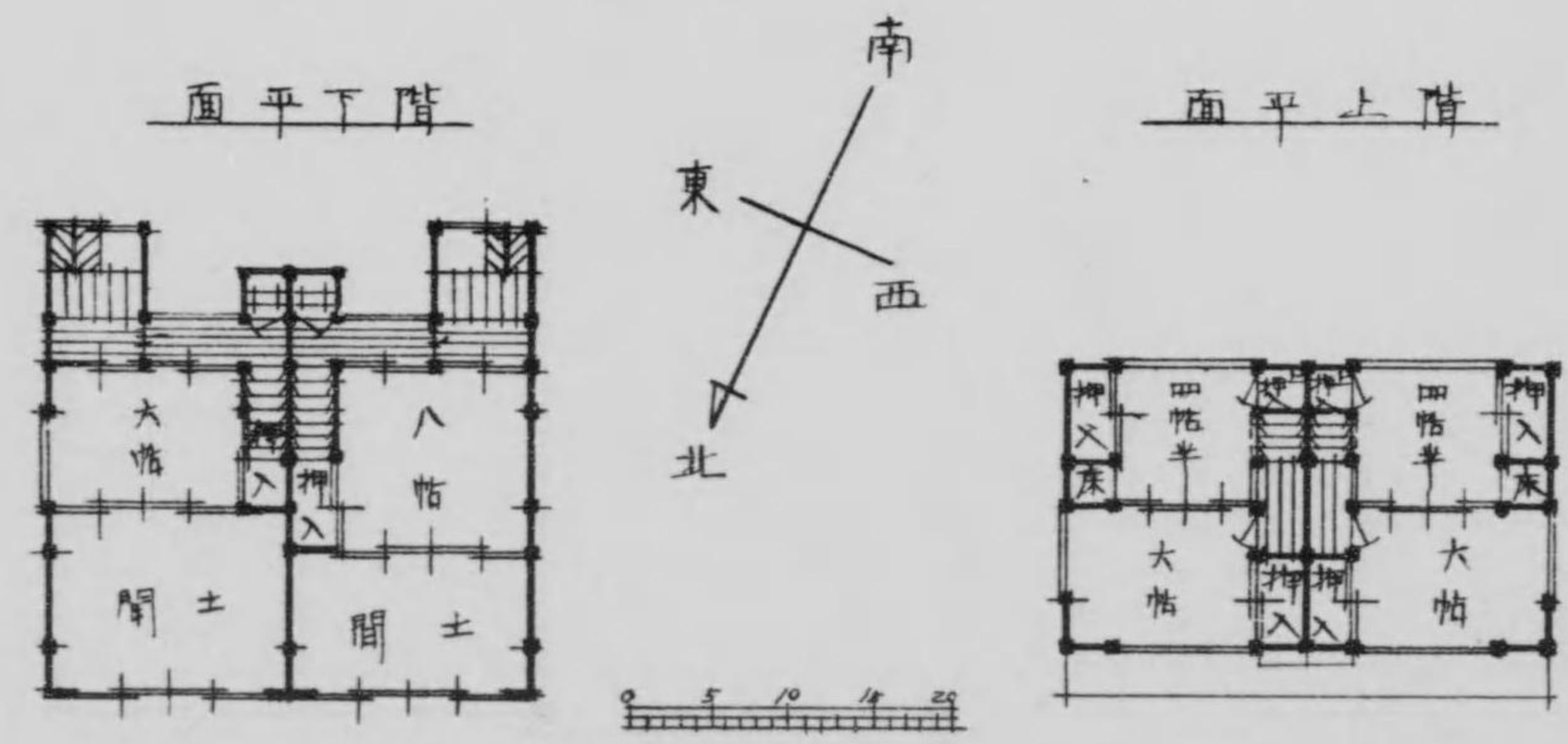
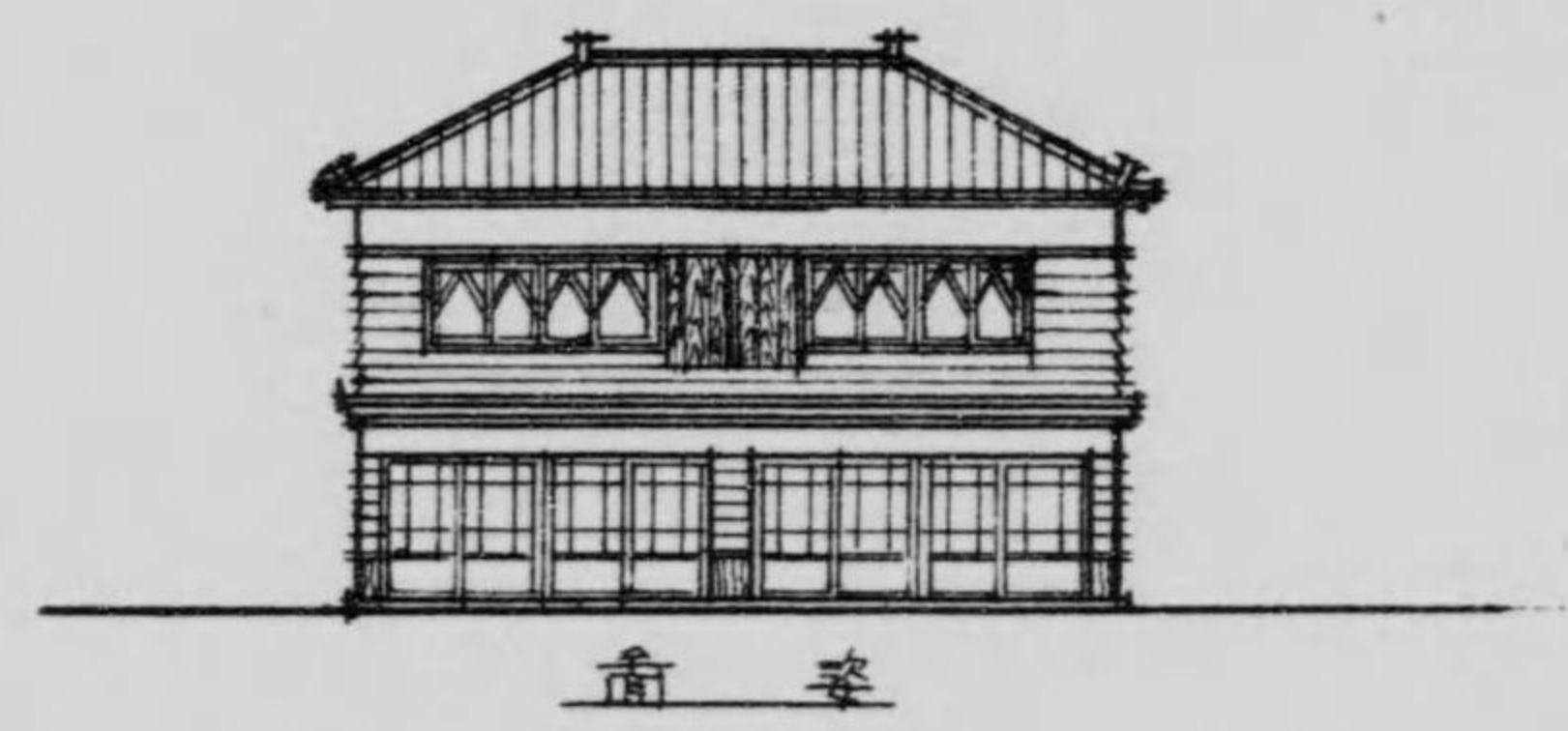


第六圖

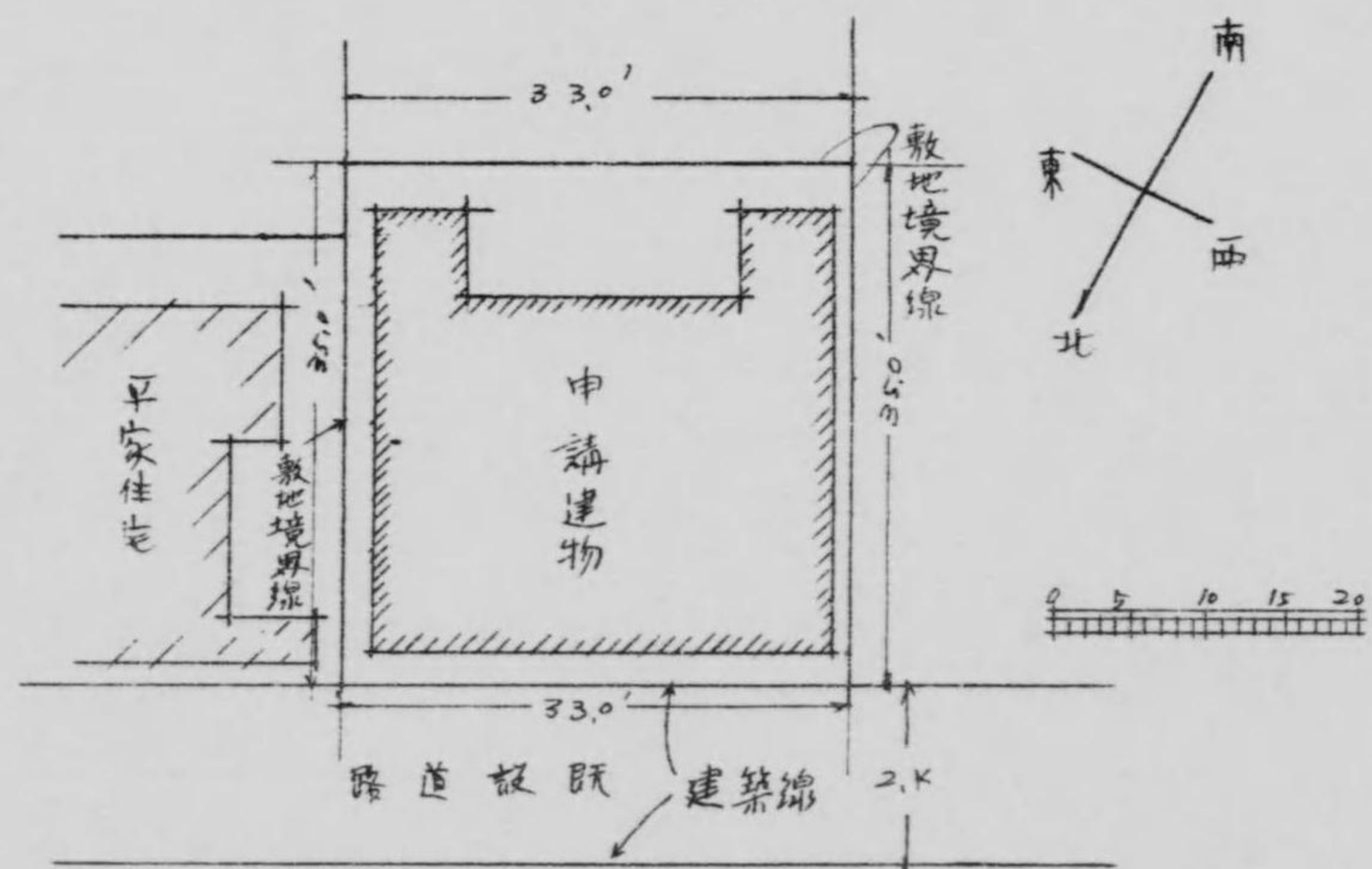




第七圖





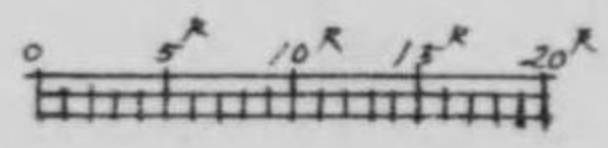
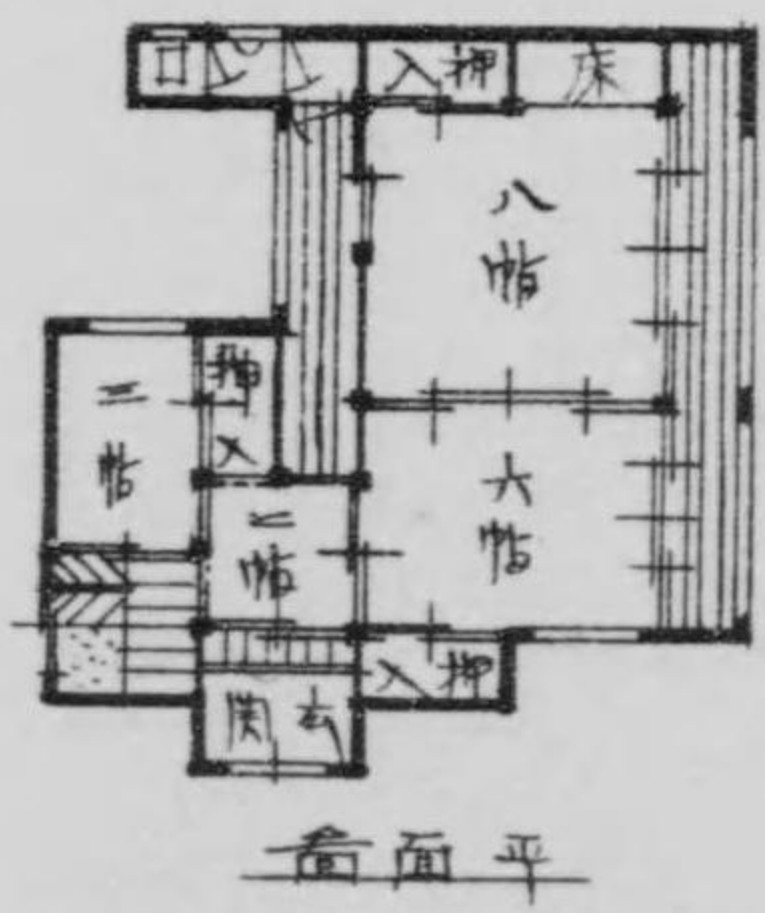
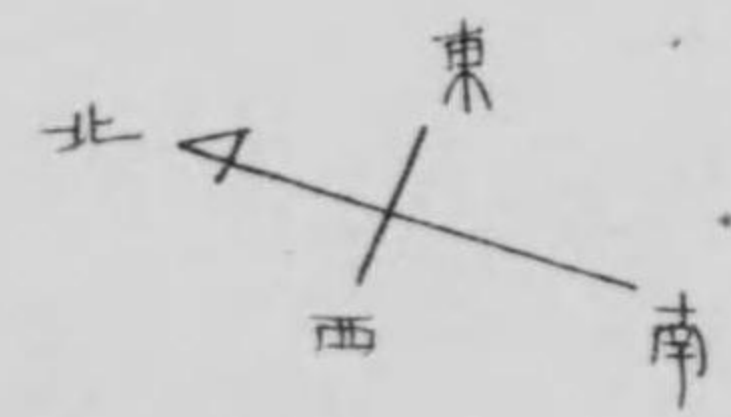
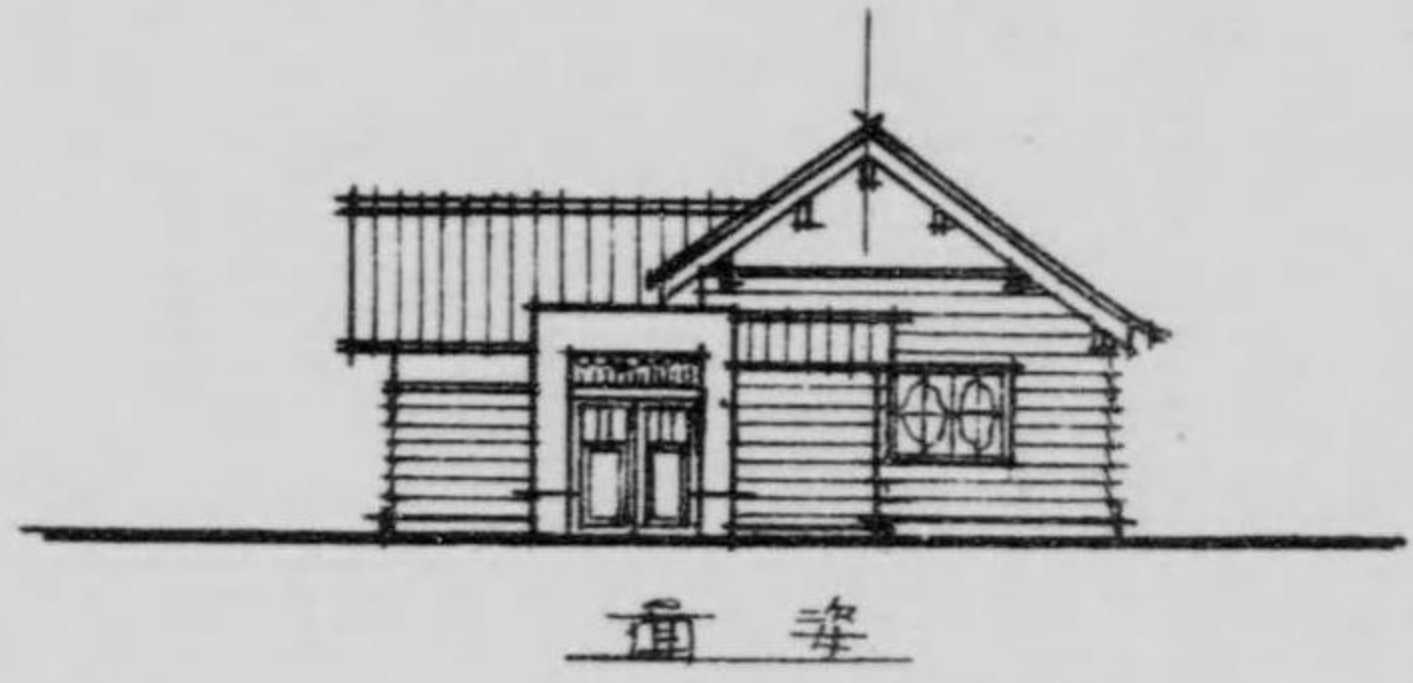


第八圖

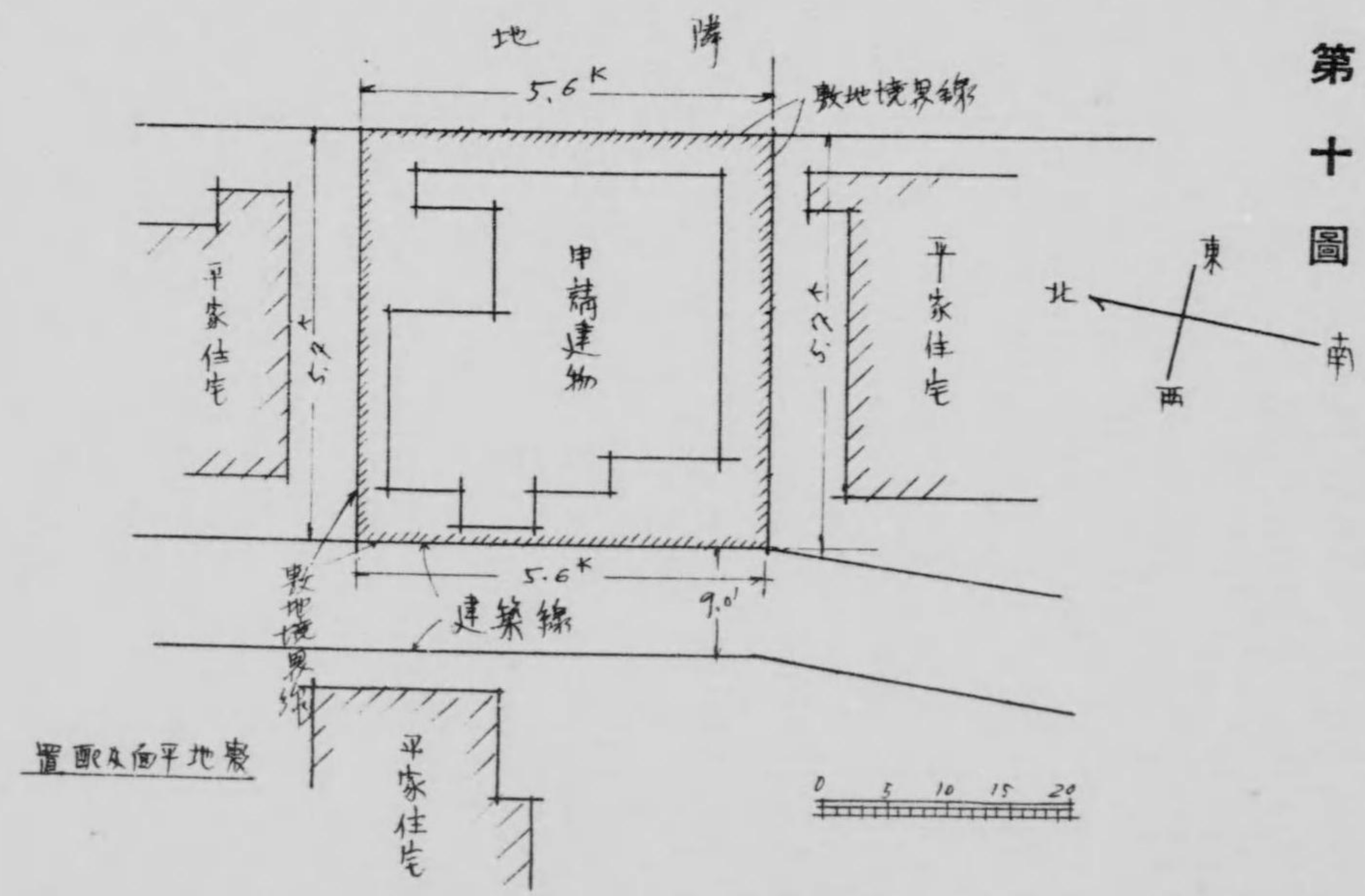
敷地平面配置圖



第九圖



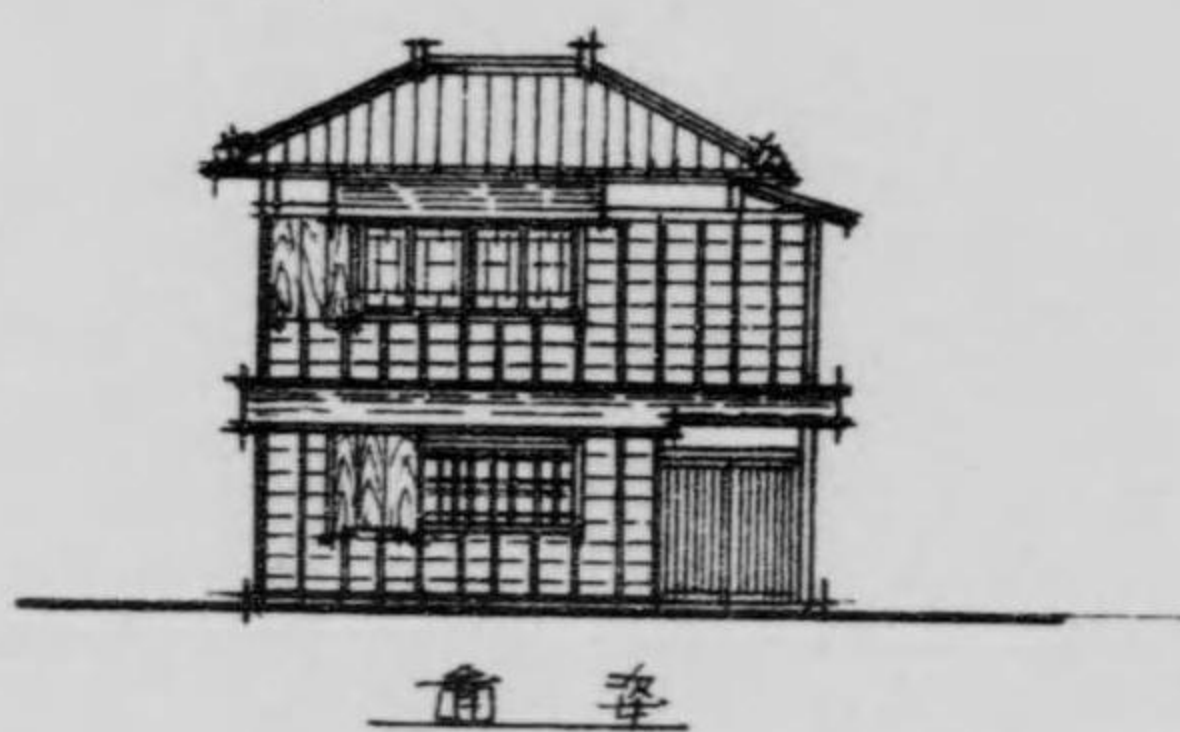




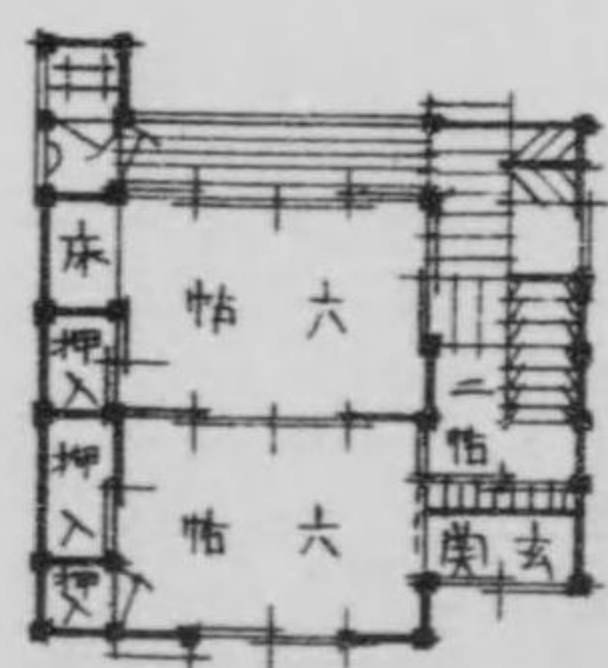
第十圖



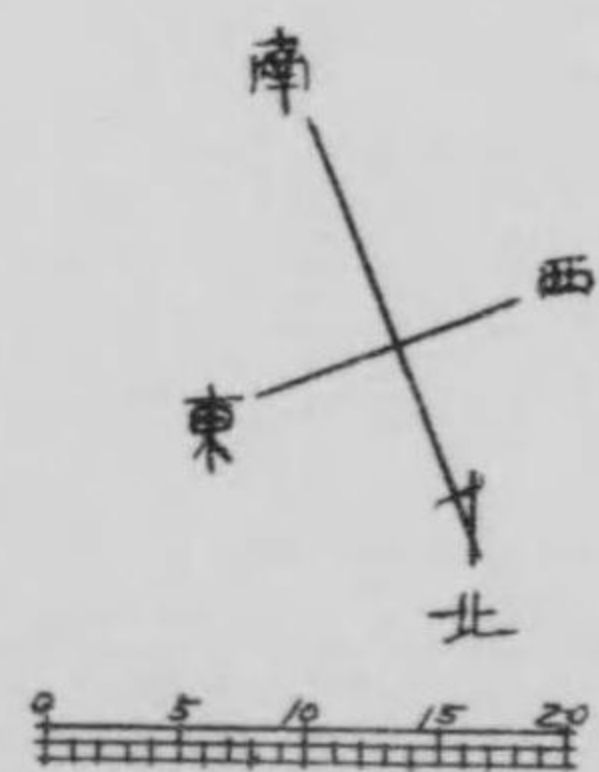
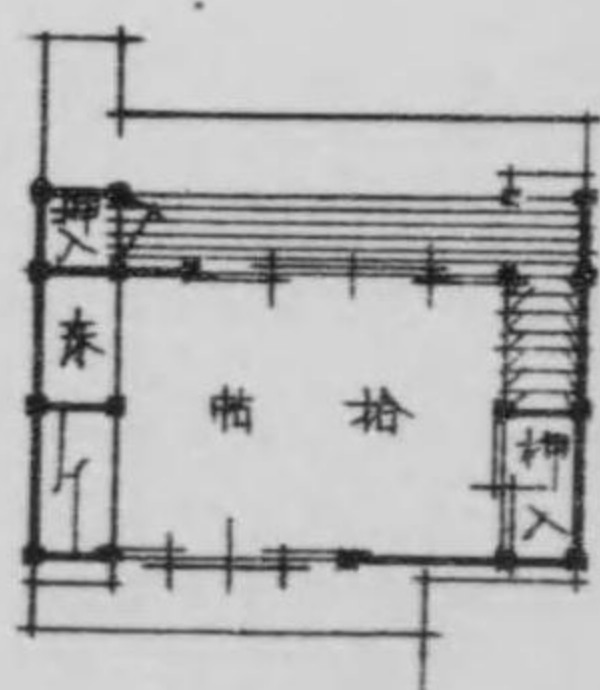
第十一圖



面平下階



面平上階

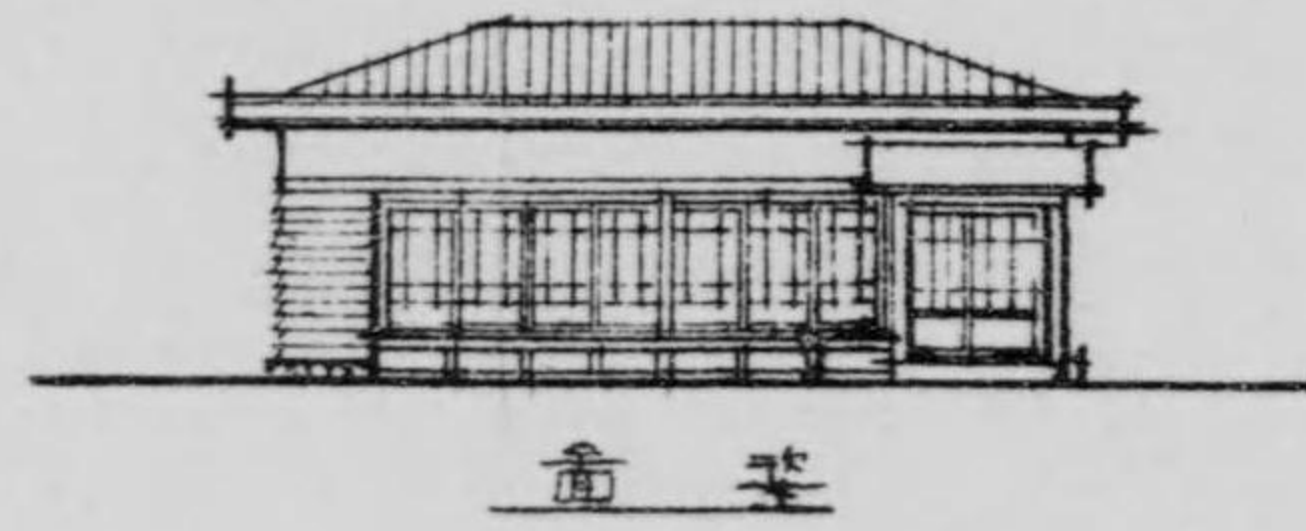




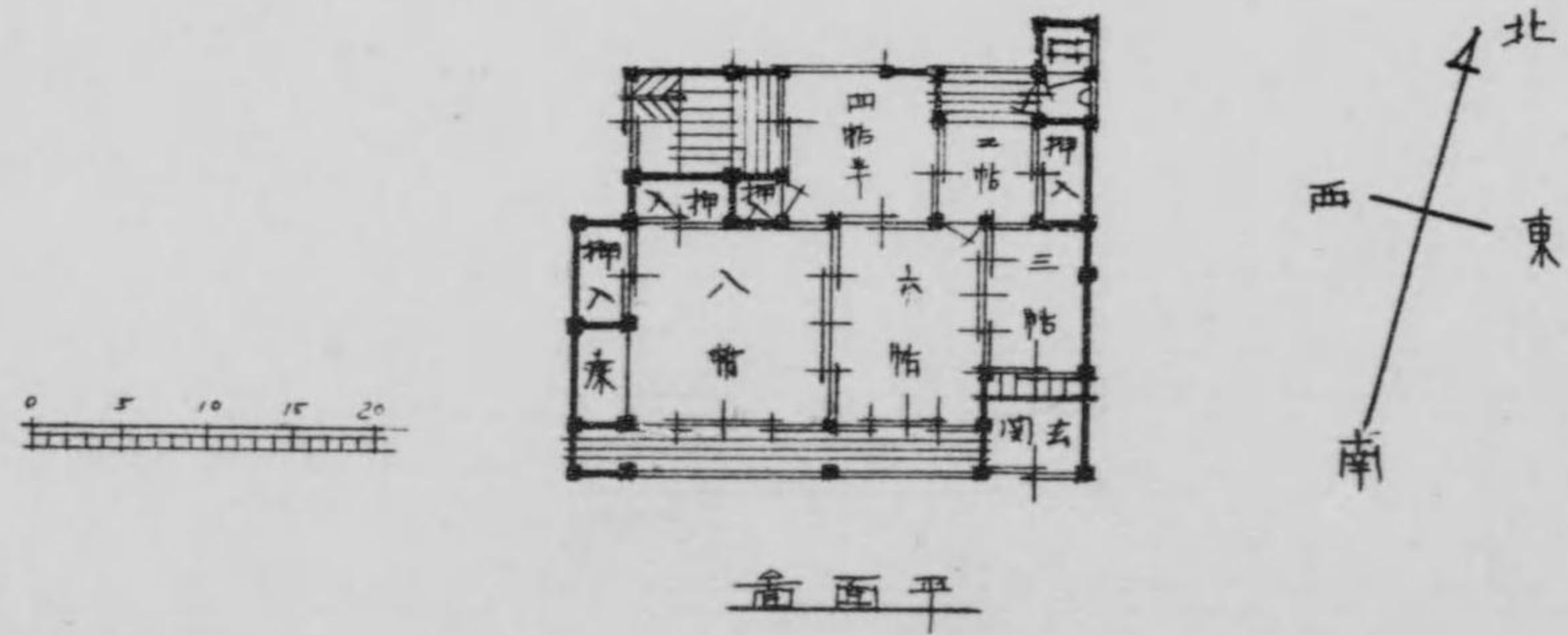




第十三圖



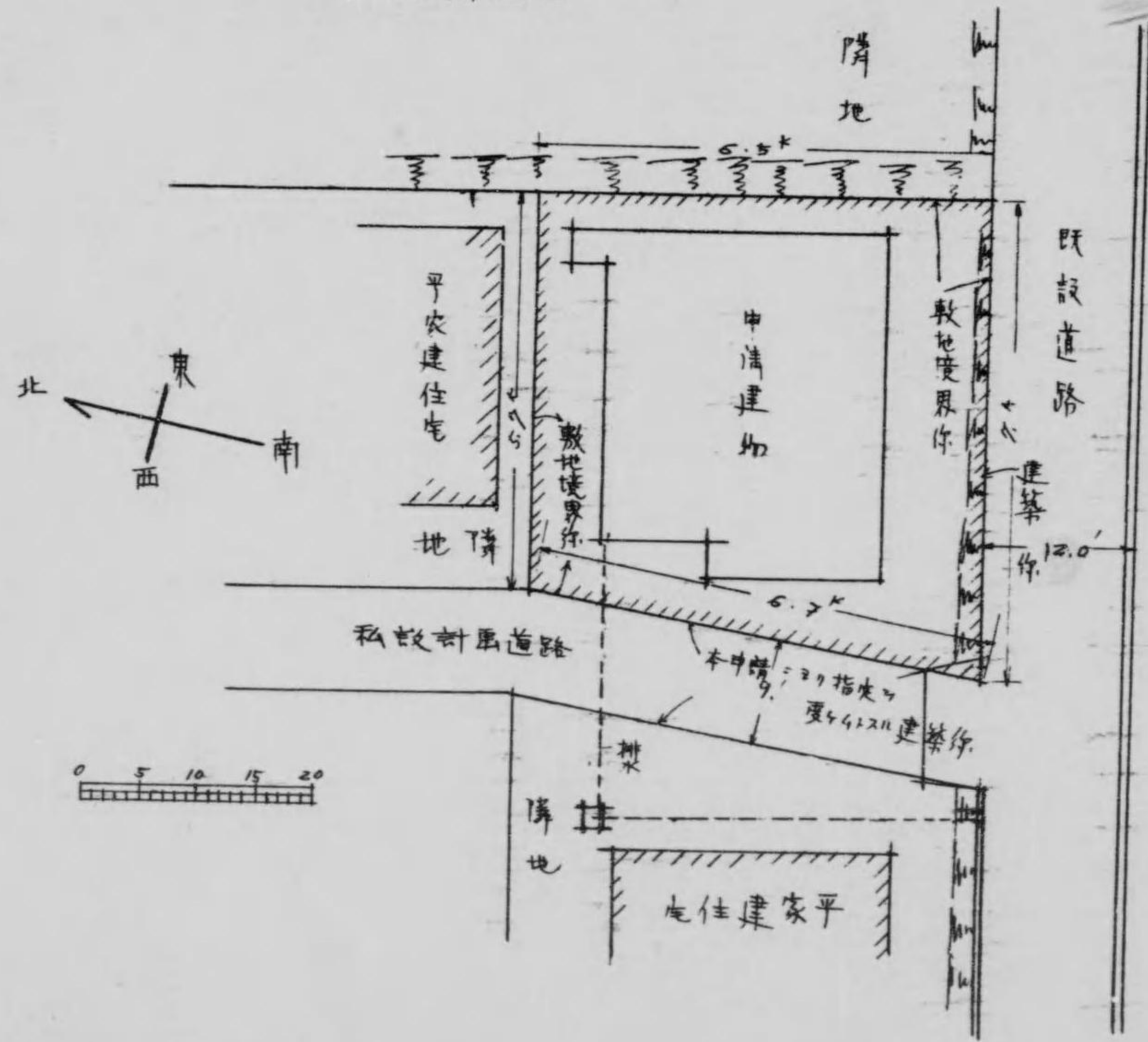
立面



平面



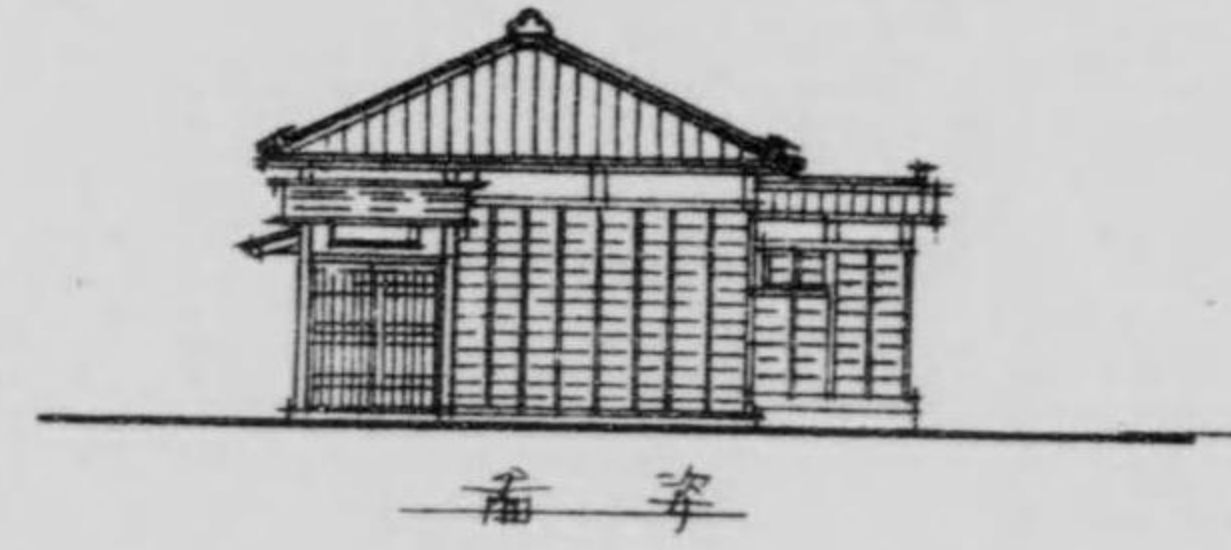
平面图



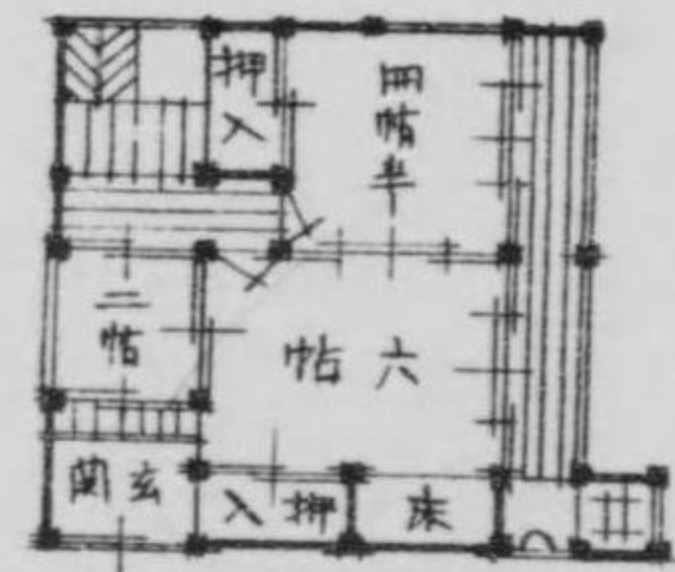
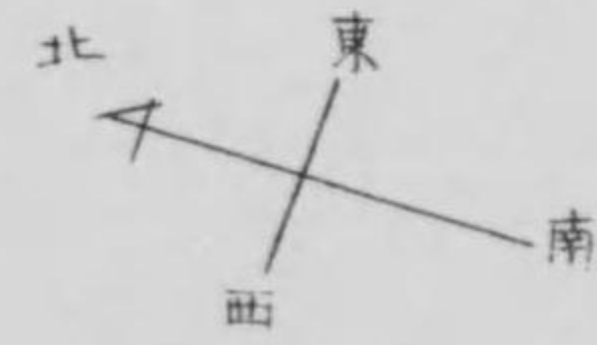
第十四圖



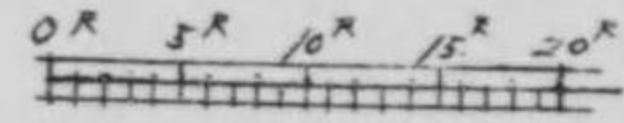
第十五圖



正面

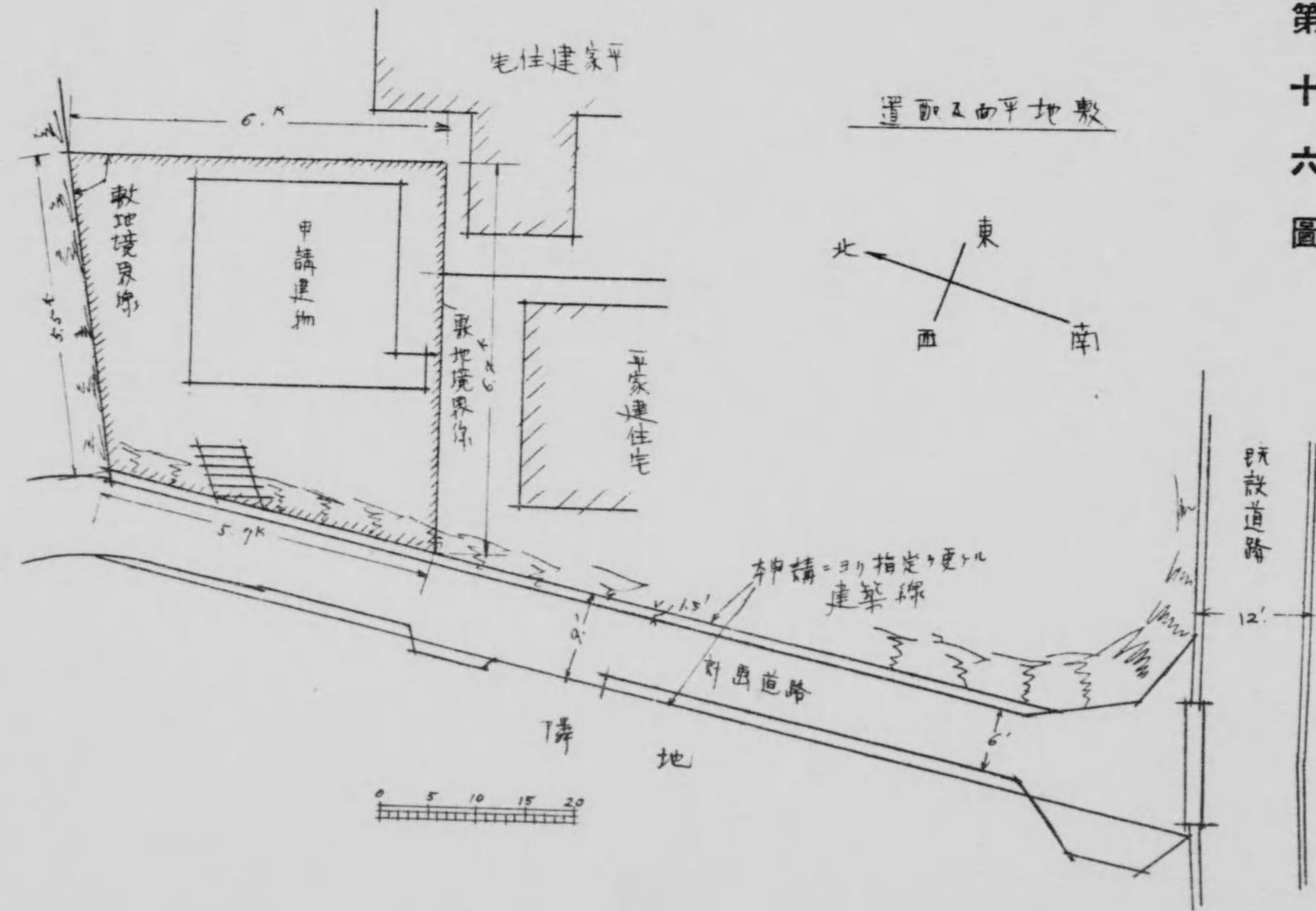


平面圖

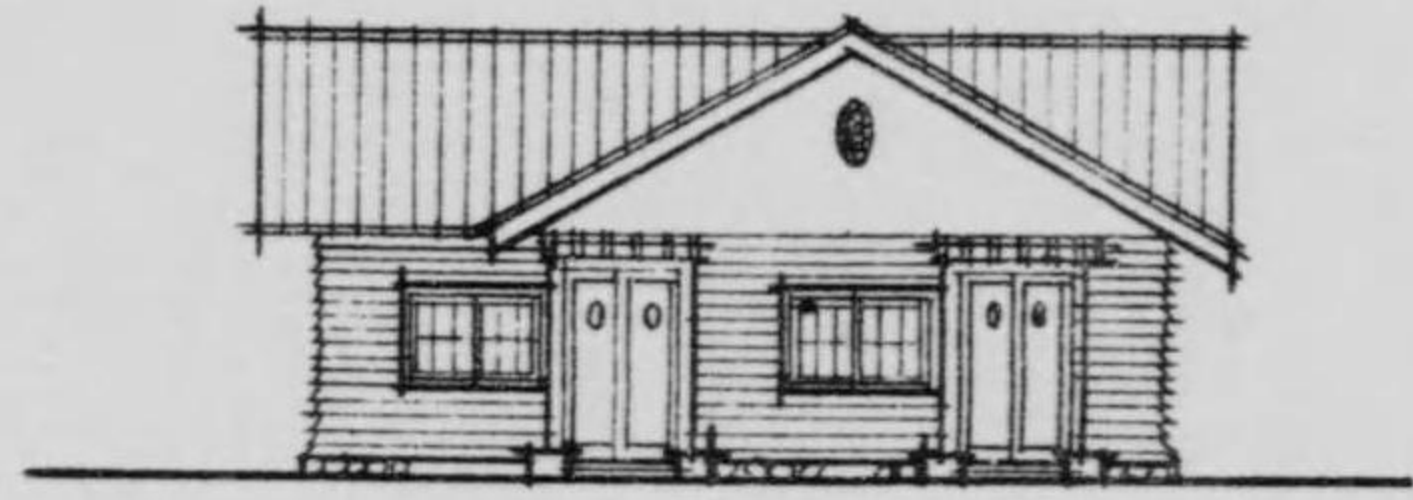




第十六圖

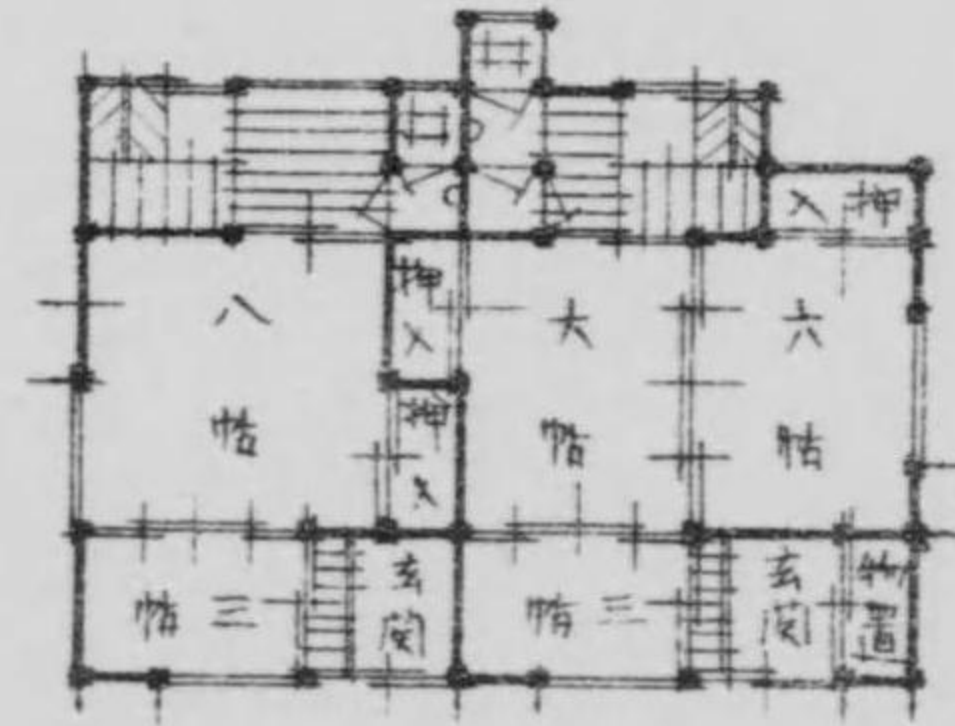
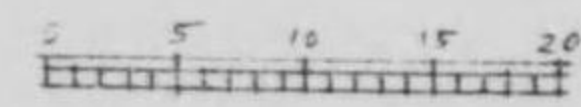






窗 姿

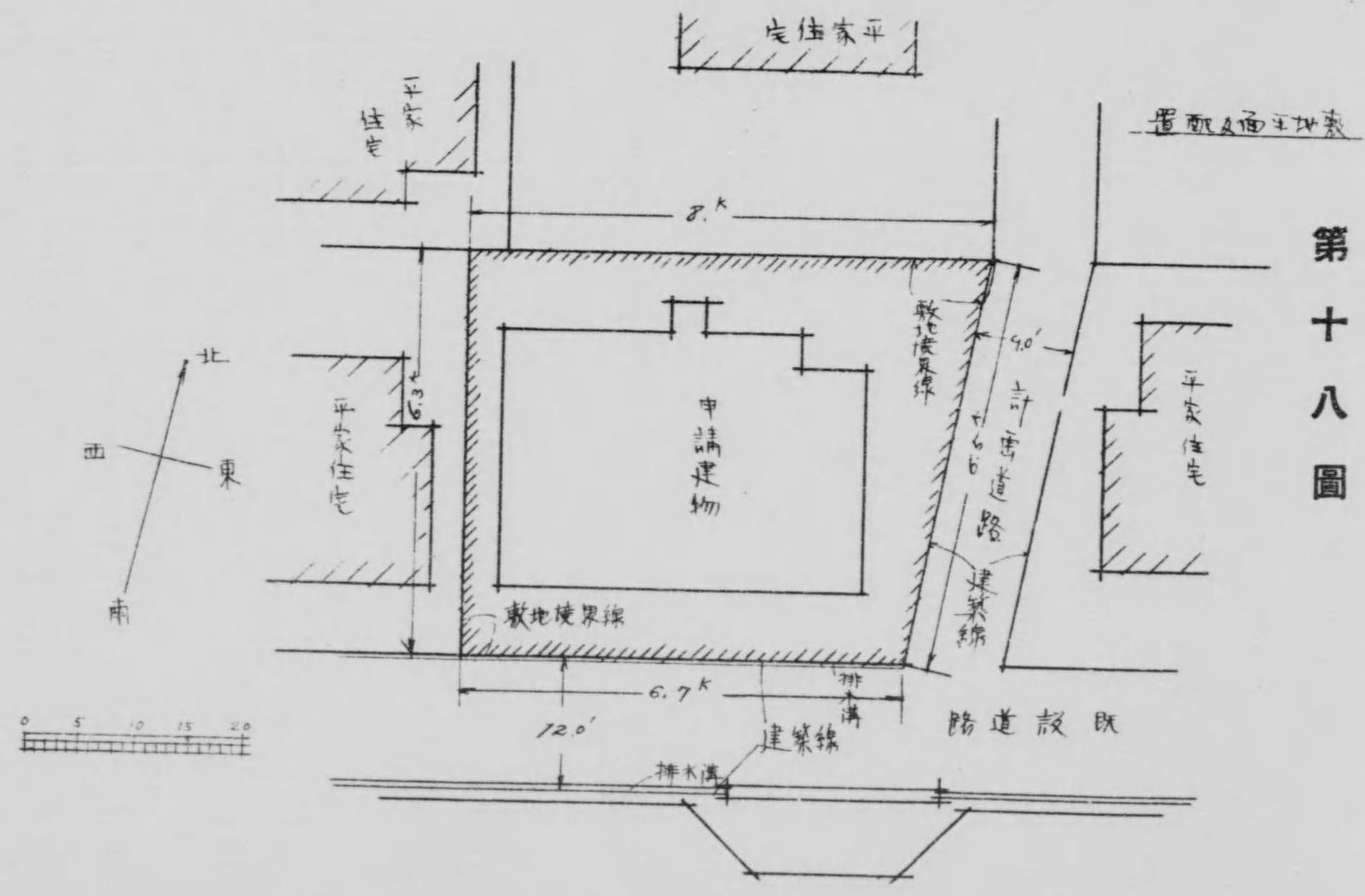
第十七圖



窗 面 平





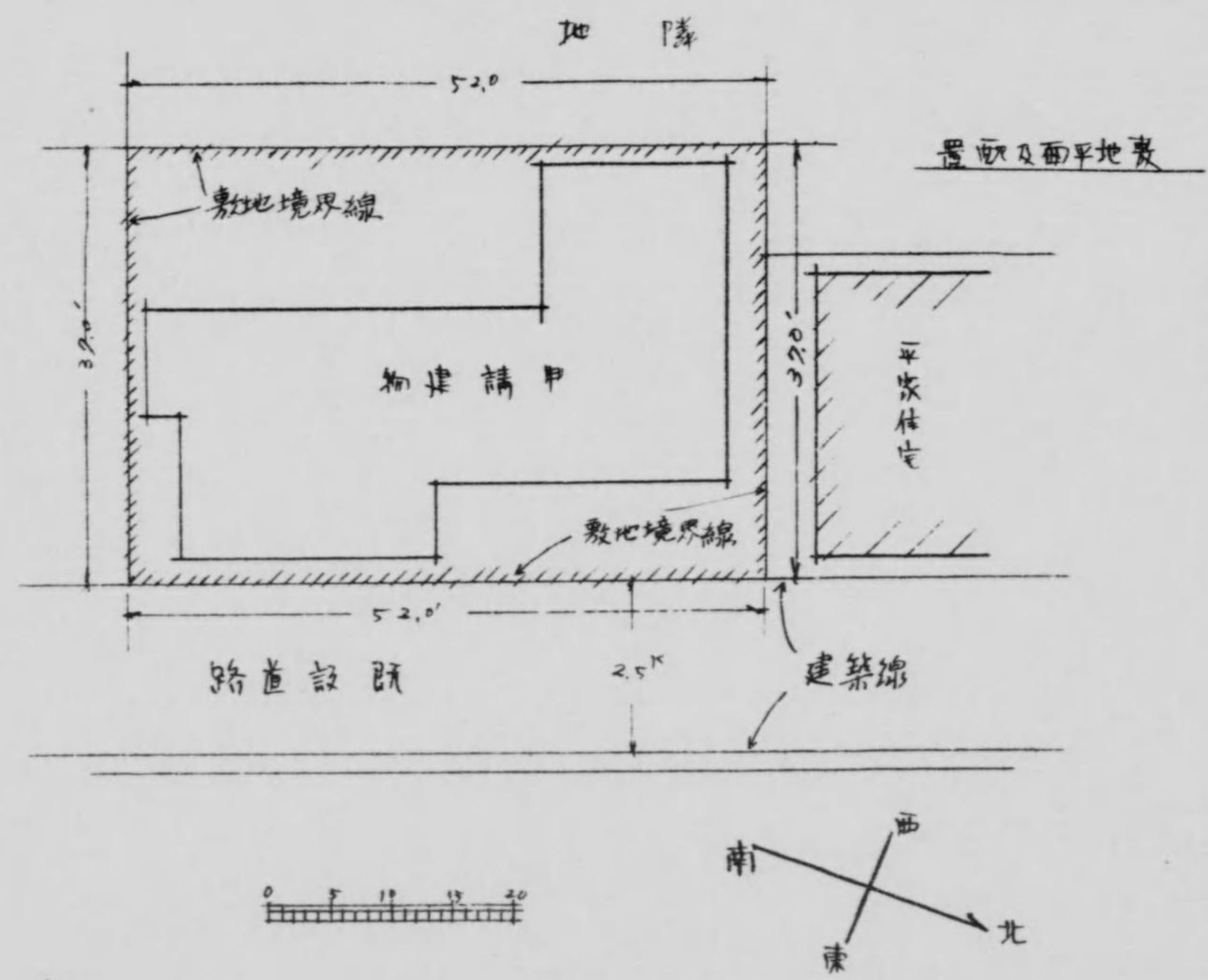


第十八圖





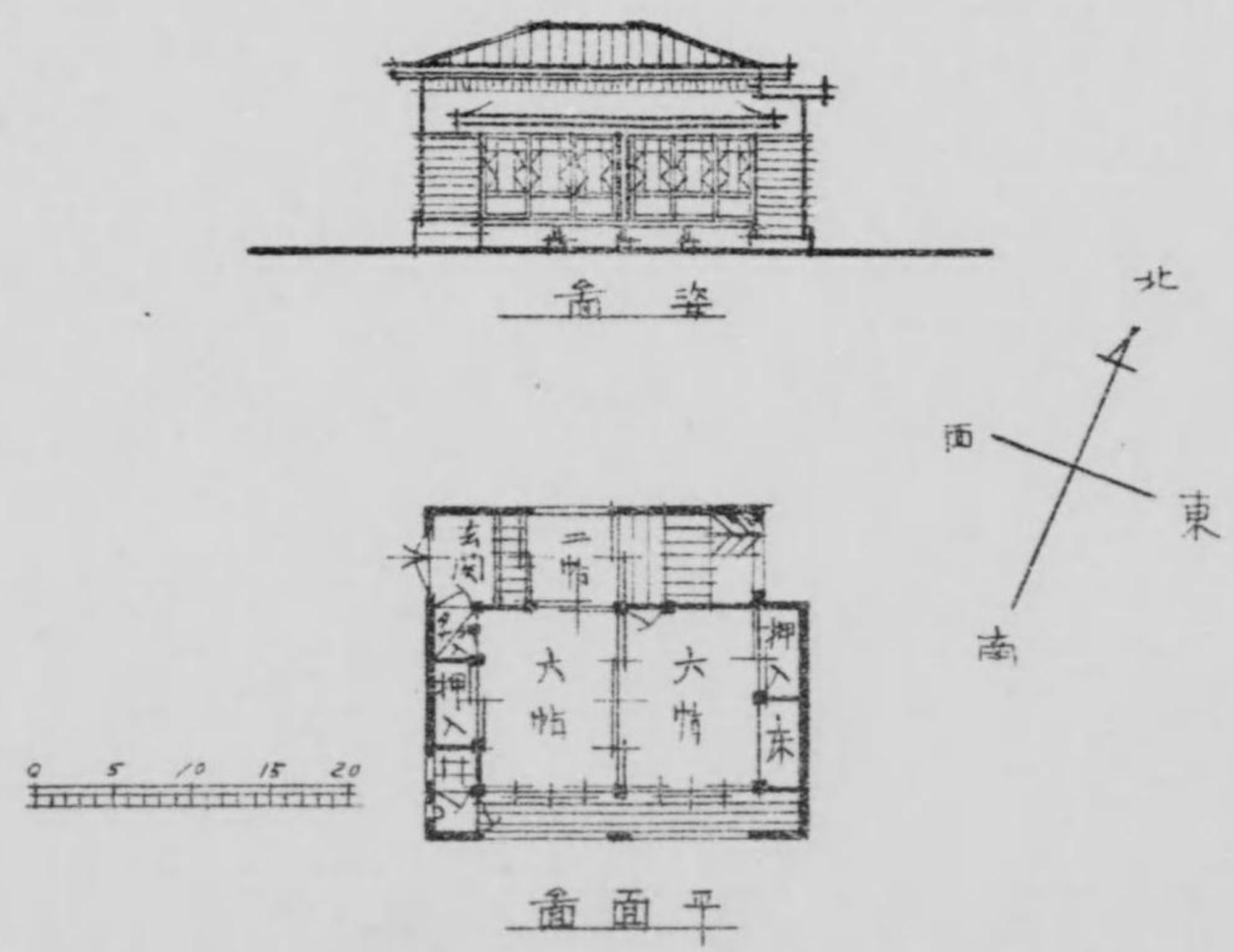




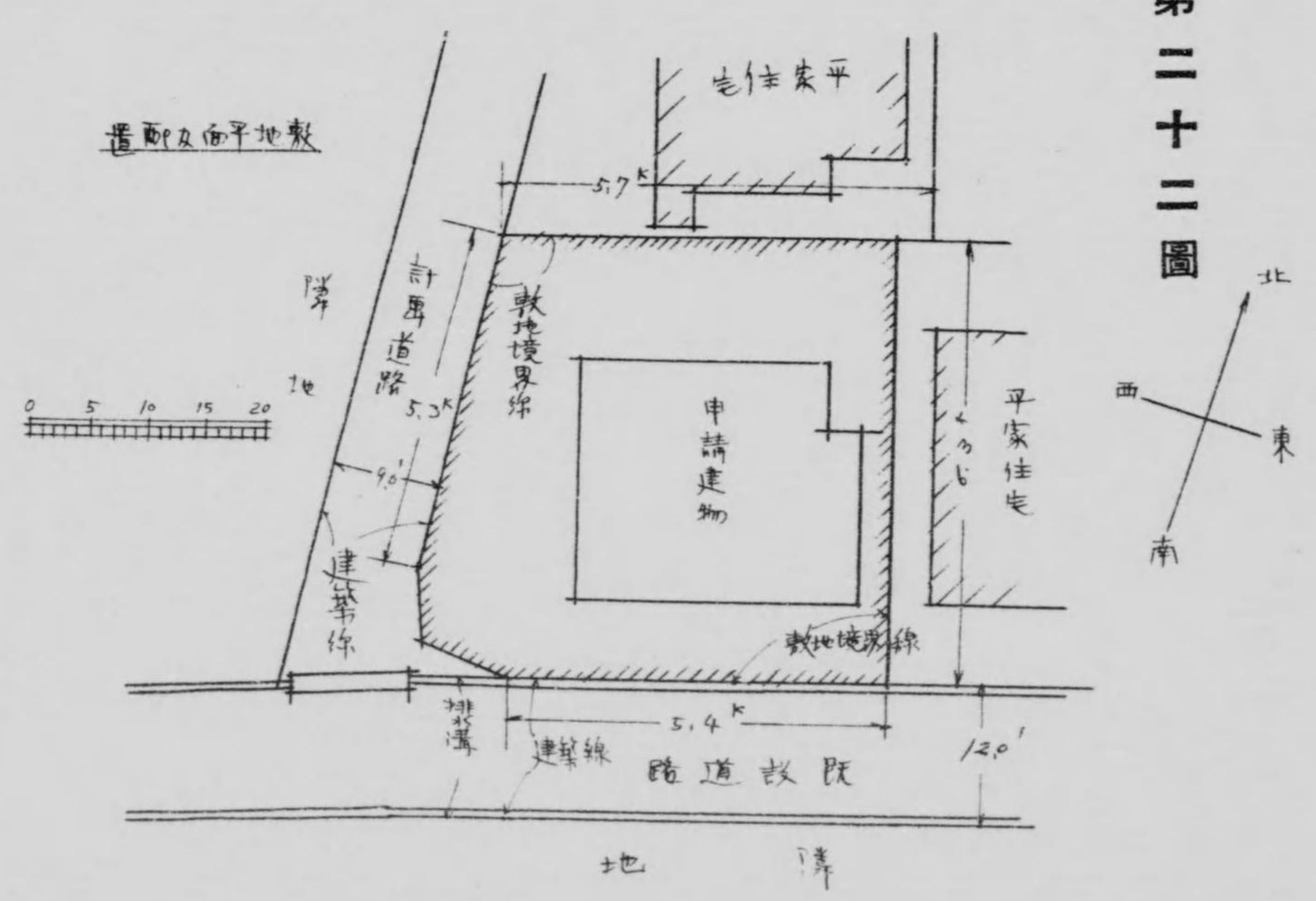
第二十圖



第二十一圖

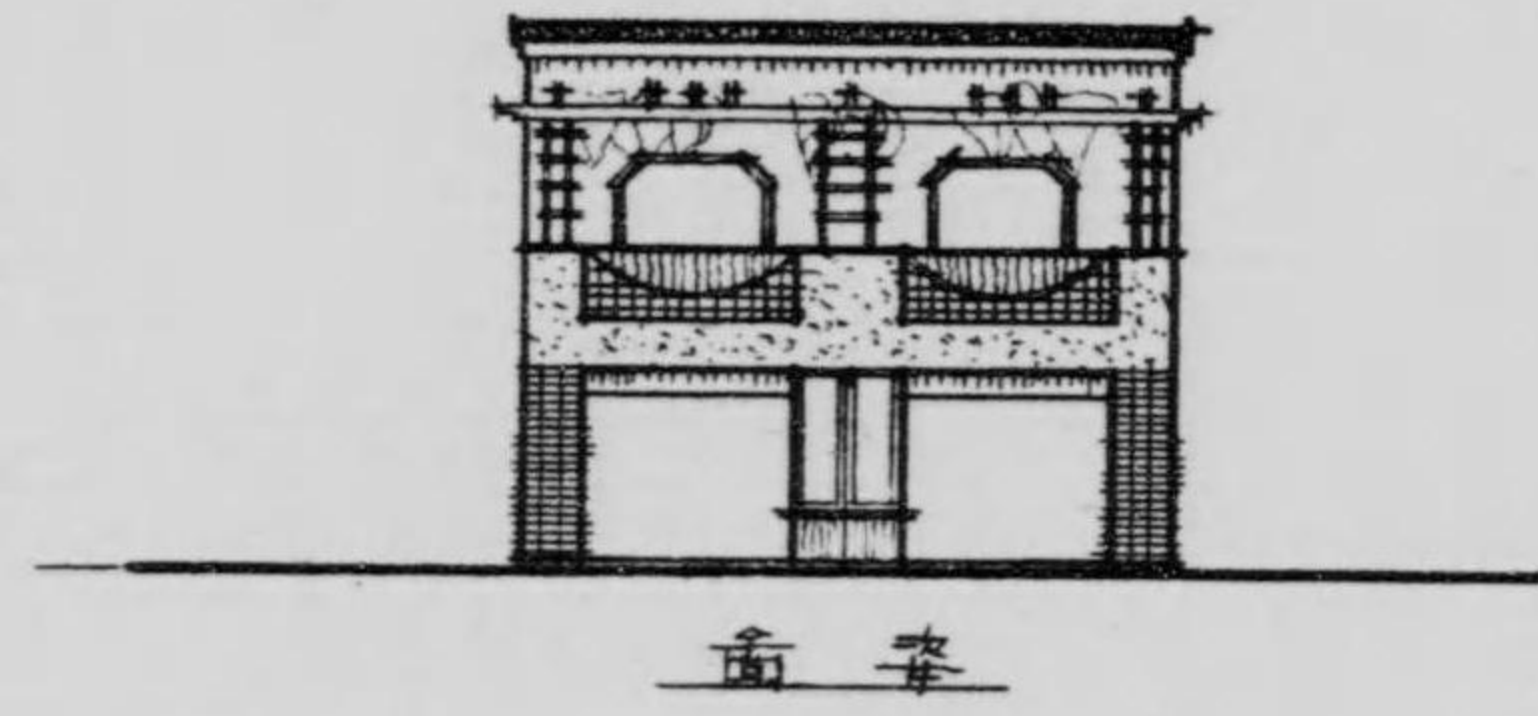






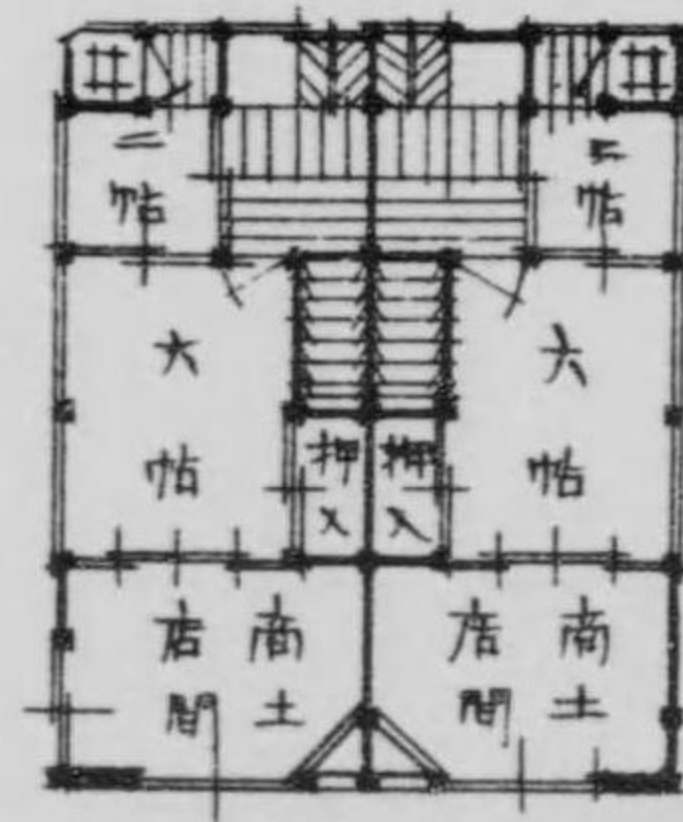
第二十二圖



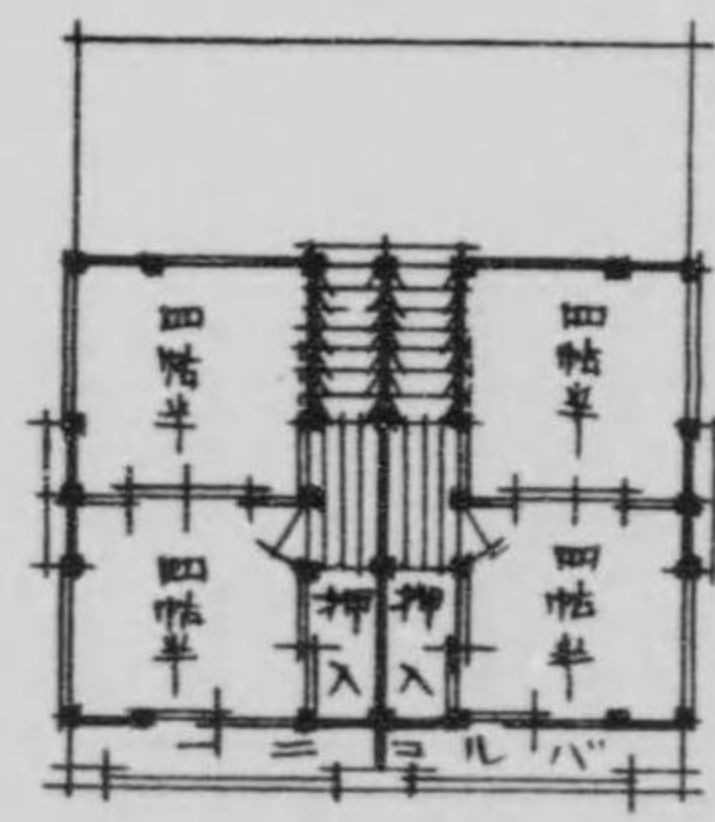


第二十三圖

面平下階

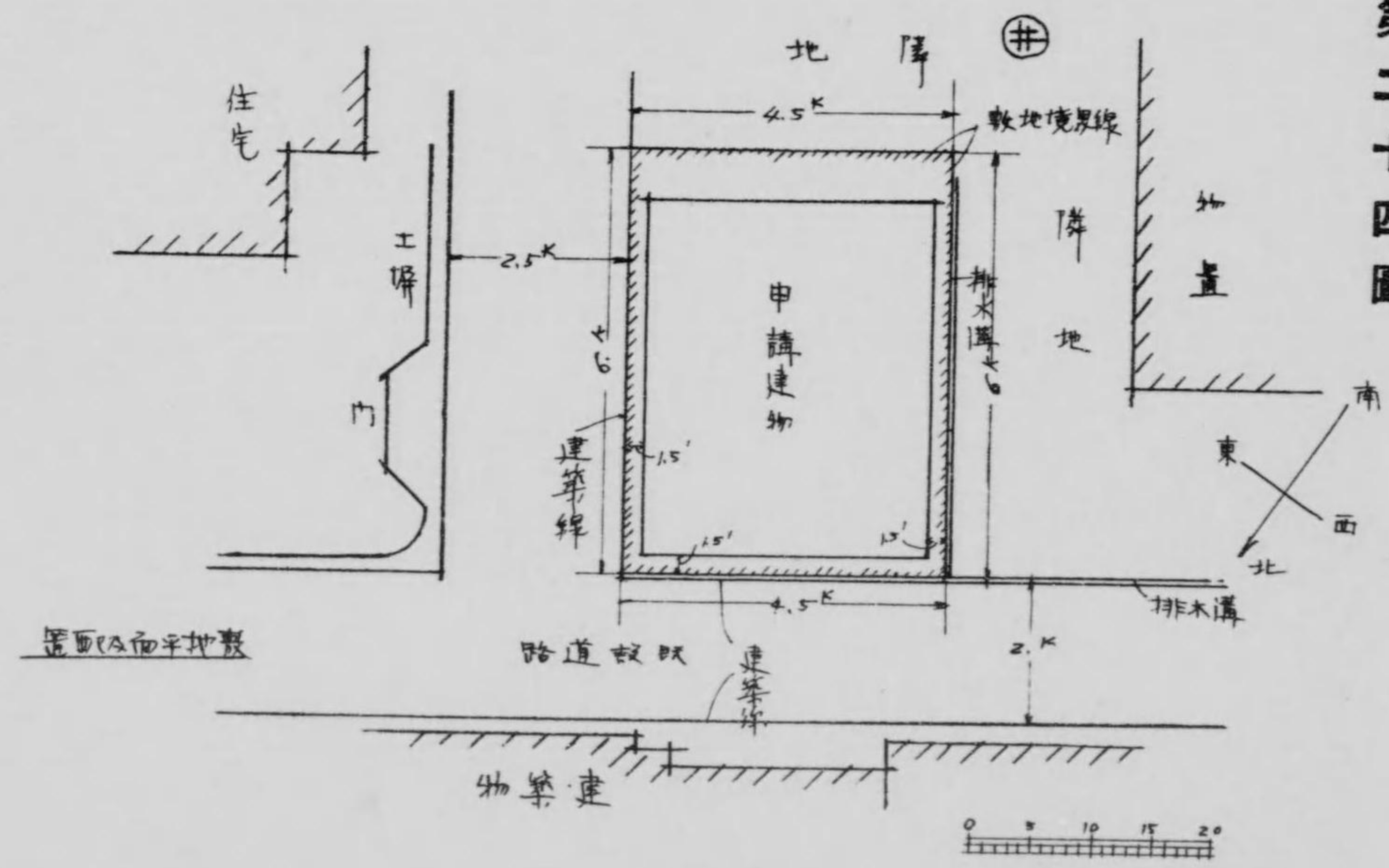


面平上階



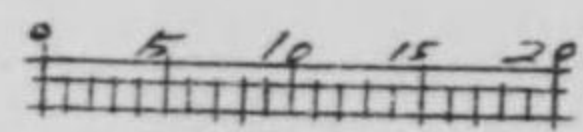
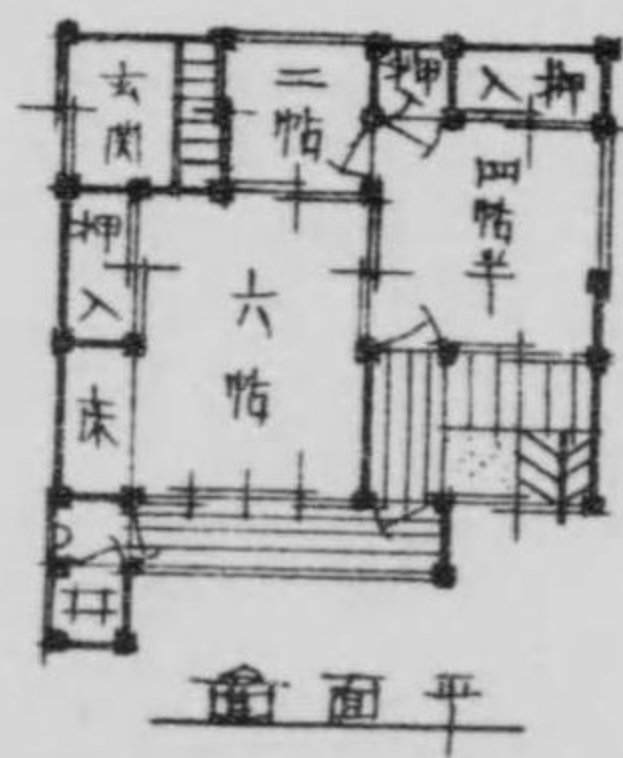
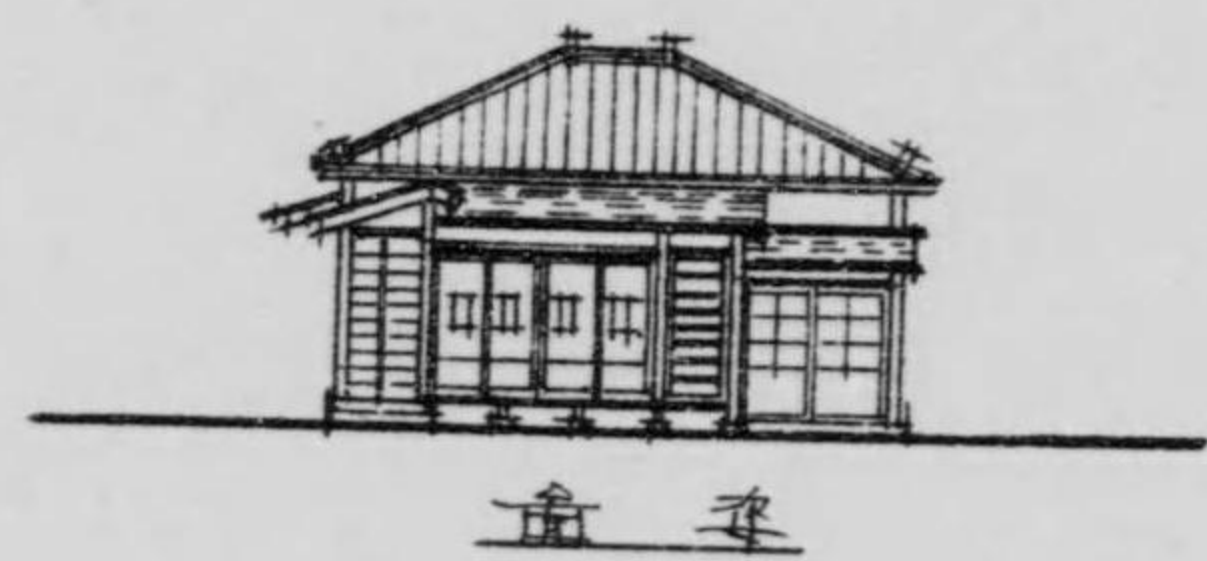


第二十四圖





第二十五圖

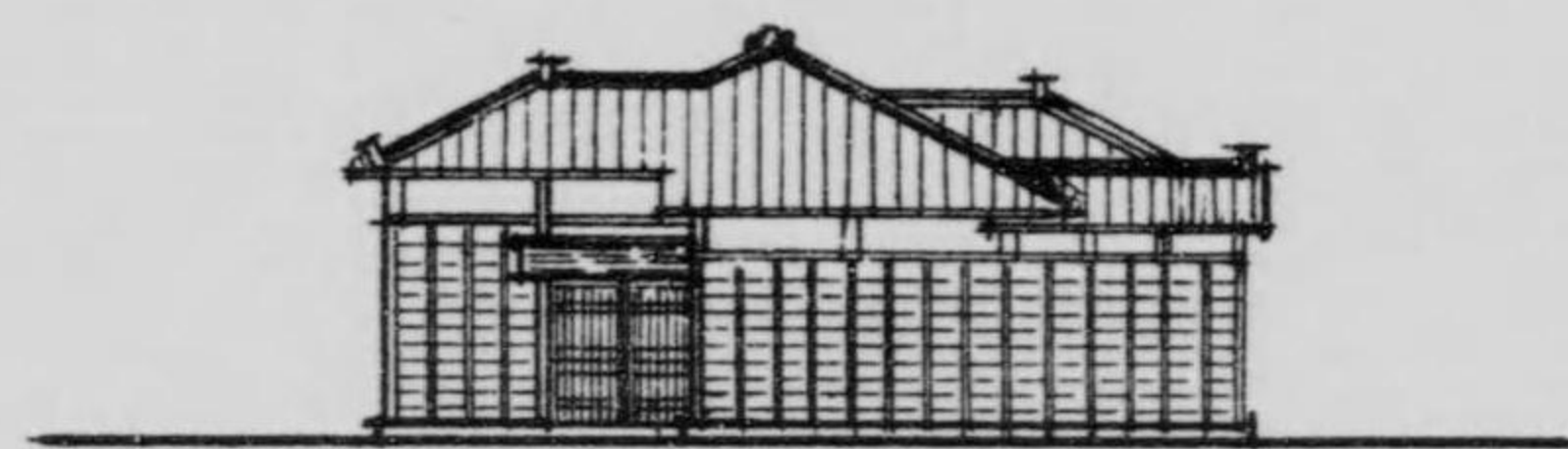






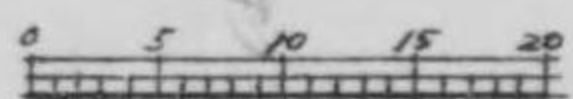
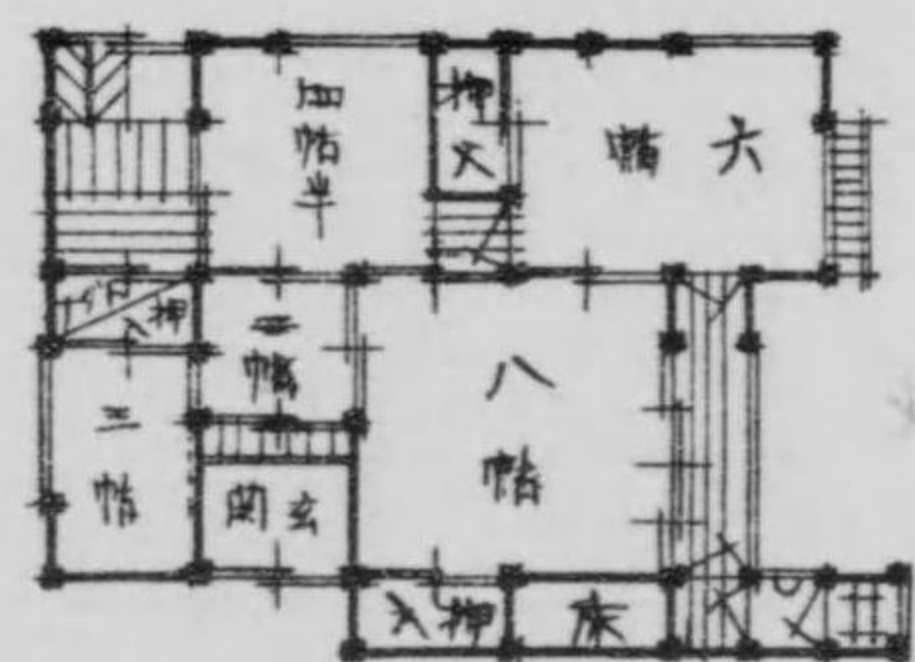


第二十七圖



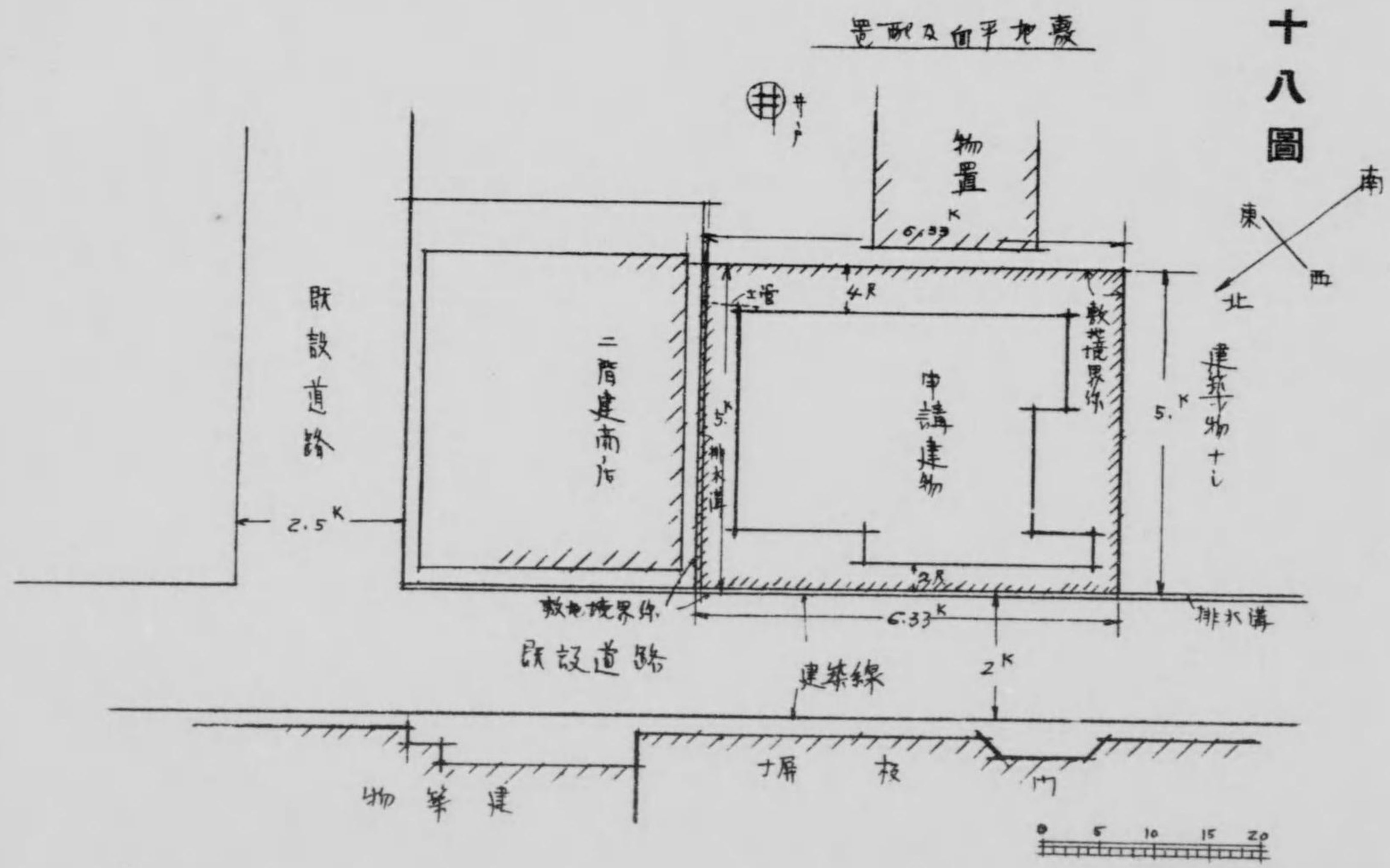
正面

平面圖



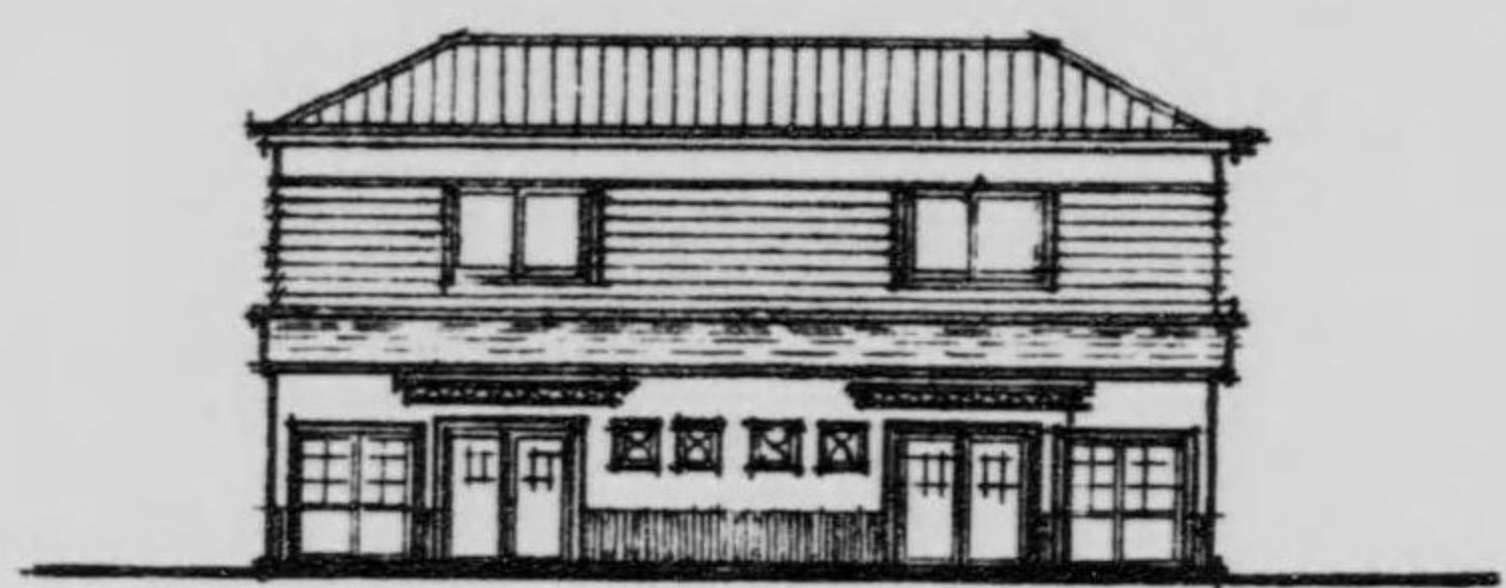


第二十八圖

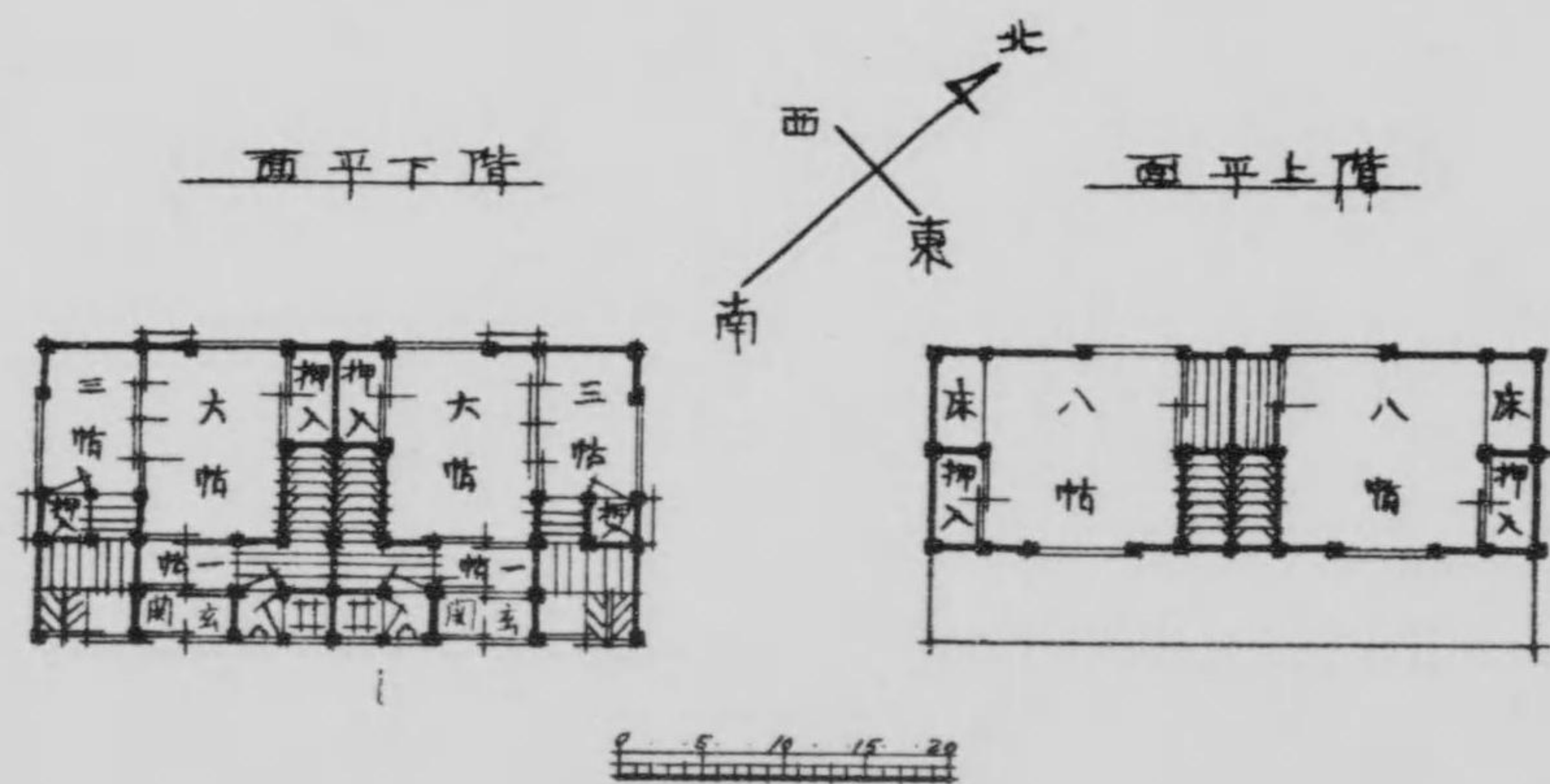




第二十九圖



南 面

















(本用紙ハ主トシテ木造建築ノ概要ニ用ルベシ) 文字ハ楷書ニテ明瞭ニ記入スヘシ

2

用途ニ依ル		建築物ノ概要		工及		事各		要ノ		目積		各軒		軒先、庇、樋其ノ他建築物ノ部分ハ總テ建築線ヨリ突出セシメズ	
名	用途ニ依ル	概	要	工	及	事	各	要	ノ	目	積	各	軒	軒	先、庇、樋其ノ他建築物ノ部分ハ總テ建築線ヨリ突出セシメズ
住宅	木造	新築	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
工	事	各	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
事	各	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
要	ノ	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
目	積	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
各	軒	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪
軒	先、庇、樋其ノ他建築物ノ部分ハ總テ建築線ヨリ突出セシメズ	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪	拾貳坪

警視廳公給建築用紙

設計書

日本造  
外部下見板張り内部真壁造り紙張障子及襖硝子入り昇降敷キトス

屋根 方形造 勾配五寸  
材根 母屋瓦葺 下家鉄板葺キ  
柱下 割栗米地形トシ玉石掘付キ土台伏セトス

軸組 土台橋四寸角廻シ柱赤梅四寸角通柱赤梅四寸半角  
上下長柵付々胴差赤松四寸半角トシ通貫員杉中貫  
トシ間柱松三寸尺五寸間三建込カモノトス

(13.1.内材積)

(圖 14 2)







大正拾四年九月一日印刷  
大正拾四年九月五日發行

滿洲  
なる小住宅圖案

正價金壹圓八拾錢

著作者 繁野繁造

東京市京橋區松屋町三丁目十番地

發行者 戶塚政次

東京市京橋區松屋町三丁目十番地

印刷者 宮間清吉

東京市京橋區松屋町三丁目十番地

印刷所 宮間印刷所

著作權所有



東京市京橋區松屋町三丁目拾番地

發行所 工業圖書出版 建築書房

振替口座東京六七二五五番

東京市日本橋區通四丁目四番地

發賣所 前川文榮閣

振替口座東京四一〇九番



IT 5F-48

工學博士 伊東忠太先生序

金子清吉先生著 (好評三版)

# 最新和洋住宅間取圖案

全一冊

◎四六倍判形天金函入頗る美本

◎正價金五圓八拾錢

△内地送料金貳拾七錢  
△滿鮮樺臺金五拾五錢

本圖案は、著者多年の實驗に基き、模範的の日本住宅及西洋住宅間取圖案、總計五十種を收めたるものにして、小は平家十八坪より、大は二階建百四十餘坪の大邸宅あり、別邸あり、又都會住宅として建設するに適切なる設計圖あり、委く其地所の廣狹に應じ選擇し、圖中各室の名稱及建具類に至る迄、詳細に指示し、且つ建築すべき其位置及便不便を説明し、加ふるに一坪に要する概算建築費を附記したり、故に本書は何人とも雖も、一見直ちに應用撰定自由自在也。確く信ず、世に類似の書、數多あれども、斯道唯一の最新實用の間取圖案は本書の外他に無し。

技術者諸氏は素より、一般の人士は家庭の顧問として、技術、請負業、大工職、學校、圖書館には是非一本を備へられんことを。

## 工業書目

○建築○土木○機械○物理  
○電氣○鑛業○海牙○機織○化學

御入用の方は郵券貳錢封入御申越次第送呈仕候

東京市京橋區松屋町三丁目拾番地

工業圖書出版

建築書房

振替口座東京六七二五五番



終

